

2023 年度

# 歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

# 目 次

頁

## 形態機能成育学講座

|          |   |
|----------|---|
| 解剖学分野    | 1 |
| 組織学分野    | 3 |
| 生理学分野    | 6 |
| 口腔小児科学分野 | 7 |
| 歯科矯正学分野  | 9 |

## 口腔生物再生医工学講座

|         |    |
|---------|----|
| 生化学分野   | 14 |
| 微生物学分野  | 16 |
| 歯周病学分野  | 18 |
| 基礎生物学分野 | 23 |
| 基礎化学分野  | 24 |

## 機能保存回復学講座

|                   |    |
|-------------------|----|
| 歯科生体材料学分野         | 25 |
| 有床義歯補綴学分野         | 27 |
| クラウン・ブリッジ補綴学分野    | 29 |
| 保存治療学分野           | 34 |
| オーラル・リハビリテーション学分野 | 37 |
| 摂食嚥下リハビリテーション学分野  | 40 |

## 病態診断治療学講座

|            |    |
|------------|----|
| 病理学分野      | 44 |
| 薬理学分野      | 46 |
| 総合臨床歯科学分野  | 48 |
| 歯科放射線学分野   | 49 |
| 口腔顎顔面外科学分野 | 52 |
| 高齢者歯科学分野   | 55 |
| 歯科麻酔学分野    | 56 |
| 歯科法医学分野    | 59 |

## 社会健康科学講座

|             |    |
|-------------|----|
| 口腔保健予防歯科学分野 | 62 |
| スポーツ歯学分野    | 64 |

## 総合臨床医学講座

|                |    |
|----------------|----|
| 内科             | 70 |
| 頭頸部外科・耳鼻咽喉科学分野 | 71 |

## 明海大学歯科医学総合研究所

|  |    |
|--|----|
| M-RIO (Meikai University Research Institute of Odontology) | 72 |
|--|----|

# 形態機能成育学講座

解剖学分野

組織学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

# 解剖学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Ogasawara Y, Sakiyama K, Shimamura R, Onozawa G, Nagasaka A, Bando Y, Yamamoto N, Amano O, Sakashita H: Expression of High Mobility Group Box 1 (HMGB1) in Necrosis and Regeneration of Myofibers in Tongue Carcinoma Model Mice. 明海歯科医学, 52(2): 75-85, 2023, 9
- 2) Bando Y, Nagasaka A, Onozawa G, Sakiyama K, Owada Y, Amano O: "Integrin expression and extracellular matrix adhesion of septoclasts, pericytes, and endothelial cells at the chondro-osseous junction and the metaphysis of the proximal tibia in young mice". J Anat, 242(5): 831-45, 2023, 5
- 3) Nagasaka A, Sakiyama K, Bando Y, Onozawa G, Amano O: Live imaging observation of elevation of the anterior palatal shelf in mouse embryos. Dev Growth Differ, 65(4): 224-29, 2023, 5
- 4) Taira F, Kawabe Y, Mizobe K, Nagasaka A, Bando Y, Sakashita H, Sakiyama K, Yamamoto N, Sakashita H, Amano O: Myoepithelial Cells in the von Ebner's Glands of Rats, 明海歯科医学, 52(2): 63-74, 2023, 9

## D. 学会発表

### (3) 一般演題

- 1) 坂東康彦, 長坂 新, 崎山浩司, 天野 修: マウス骨端板における septoclast, ペリサイト, 血管内皮細胞のインテグリンの発現と細胞外マトリックスの接着. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2023. 9
- 2) 島村瑠々花, 浅見瑠璃, 佐藤卓也, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修, 崎山浩司: 筋再生に影響する High mobility group box 1(HMGB1). 第 129 回日本解剖学会総会全国学術集会, 沖縄, 2024. 3
- 3) 浅見瑠璃, 島村瑠々花, 佐藤卓也, 崎山浩司: 高速液体クロマトグラフィーを用いた象牙質コラーゲンに蓄積する終末糖化産物 (AGEs: Advanced Glycation End products) の定量. 第 129 回日本解剖学会総会全国学術集会, 沖縄, 2024. 3
- 4) 坂東康彦, 小野澤 豪, 鈴木海登, 長坂 新, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修: 骨端板軟骨吸収における septoclast, ペリサイト, 血管内皮細胞と細胞外マトリックスの接着とその意義. 第 129 回日本解剖学会総会全国学術集会, 沖縄, 2024. 3
- 5) 佐藤卓也, 林田千代美, 崎山浩司: 副甲状腺ホルモンが発現を促進する骨細胞遺伝子の網羅的解析. 第 129 回日本解剖学会総会全国学術集会, 沖縄, 2024. 3

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) 天野 修, 長坂 新, 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司: 口腔顎顔面発生における組織消失の形態と意義. 第 129 回日本解剖学会総会全国学術集会, 沖縄, 2024.3
- 2) 天野 修, 小野澤 豪, 平良芙蓉子, 長坂 新, 坂東康彦, 鈴木海人, 崎山浩司: 唾液腺筋上皮細胞の分布と形態の機能的意義. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2023.9

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学, 歯科医師生涯研修(インプラントベーシックプログラム 10 日間コース、浦安), 2023.4

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 浅見瑠璃 (研究代表者): 象牙質および歯周組織における AGEs 蓄積に基づく年齢推定法の開発. 若手研究, 21K17217

#### 3. 宮田研究奨励金 (A)

- 1) 佐藤卓也: 局所投与で骨形成骨形成を促進する骨細胞由来因子を同定する. 2023.

# 組織学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 天野 修, 坂東 康彦 (分担共著): 口腔組織・発生学 第3版: 前田健康他編, 医歯薬出版, 東京, 2024. 01
- 2) 天野 修 他 (分担), 歯科衛生学辞典 第2版: 眞木, 吉信, 全国歯科衛生士教育協議会, 永末書店, 東京, 2024. 02

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Taira F, Kawabe Y, Mizobe K, Nagasaka A, Bando Y, Sakashita H, Sakiyama K, Yamamoto N, Sakashita H, Amano O: Myoepithelial cells in the von Ebner's glands of rats. *J Meikai Dent Med.*, 52(1), 63-74, 2023.9
- 2) Ogasawara Y, Sakiyama K, Shimamura R, Onozawa G, Nagasaka A, Bando Y, Yamamoto N, Amano O, Sakashita H: Expression of high mobility group box1 (HMGB1) in necrosis and regeneration of myofibers in tongue carcinoma model mice. *J Meikai Dent Med.*, 52(1), 75-85, 2023.9
- 3) Bando Y, Nagasaka A, Onozawa G, Sakiyama K, Owada Y, Amano O: Integrin expression and extracellular matrix adhesion of septoclasts, pericytes, and endothelial cells at the chondro-osseous junction and the metaphysis of the proximal tibia in young mice. *J Anat.*, 242(5), 831-845, 2023.5
- 4) Nagasaka A, Sakiyama K, Bando Y, Onozawa G, Amano O: Live imaging observation of elevation of the anterior palatal shelf in mouse embryos: *Dev Growth Differ.*, 65(4), 224-229, 2023.5
- 5) 天野 修, 佐藤二美, 八木沼洋行: 献体業務リスク管理アンケート結果について(篤志解剖全国連合会). *解剖学雑誌* 98(1) 5-10, 2023

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演

- 1) 天野 修, 坂東康彦, 長坂 新, 坂下 英, 崎山浩司: 口腔顎顔面発生における組織消失の形態と意義. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.3

#### (2) シンポジウム

- 1) 天野 修, 小野澤 豪, 平良芙蓉子, 長坂 新, 坂東康彦, 鈴木海登, 崎山浩司: 唾液腺筋上皮細胞の分布と形態の機能的意義. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9

- 2) 天野 修:篤志解剖全国連合会アンケート調査からみる献体実務の状況と問題点. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.03
- 3) 天野 修:CSTを支える献体実務の現場における問題点ー篤志解剖全国連合会アンケート調査からー. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.03

(3) 一般演題

- 1) 長坂 新, 坂東康彦, 小野澤 豪, 天野 修:マウス胎仔の口蓋突起挙上に関わる細胞挙動と物理的特性の解析. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.03
- 2) 坂東康彦, 小野澤 豪, 鈴木海登, 長坂 新, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修:骨端板軟骨吸収における septoclast, ペリサイト, 血管内皮細胞と細胞外マトリックスの接着とその意義. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.03
- 3) 小野澤 豪, 鈴木海登, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修:ラット耳下腺の線維芽細胞と薄い線維層による「介在部導管周囲鞘」について. 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.03
- 4) 長坂 新, 坂東康彦, 小野澤 豪, 天野 修:マウス胎仔の口蓋突起前方部における口蓋挙上のライブ観察. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.09
- 5) 坂東康彦, 長坂 新, 崎山浩司, 天野 修:マウス骨端板における septoclast, ペリサイト, 血管内皮細胞のインテグリンの発現と細胞外マトリックスの接着. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.09
- 6) 小野澤 豪, 鈴木海登, 長坂 新, 坂東康彦, 天野 修:ラット大唾液腺介在部導管の線維芽細胞と薄い線維層による鞘状構造物. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.09
- 7) 天野 修, 坂東康彦, 長坂 新:藤田恒太郎著「人体解剖学」出版の経緯と図版. 第 51 回日本歯科医史学会 学術大会, 新潟, 2023.09

E. その他の研究会、講演など

- 1) 天野 修:アンケート調査からみる献体実務の状況と問題点. 篤志解剖全国連合会 合同研修会, 沖縄, 2023.03
- 2) 天野 修:第 40 回献体実務担当者研修会 ワークショップ(グループワーク)報告. 篤志解剖全国連合会 献体実務担当者研修会, 金沢, 2023.11

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 天野 修:血管発生・発達を基軸として軟骨吸収細胞セプトクラストのライフサイクルを探る. 基盤研究(C), 21K09820
- 2) 坂東康彦:軟骨吸収細胞 septoclast の軟骨基質との接着機構と分化誘導メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09917

- 3) 長坂 新(分担):咀嚼筋腱・腱膜過形成症の病因解明に向けた基礎研究～“筋内腱”発生機序の探索～. 基盤研究(B), 23K27797(東海大学 山本将仁)
2. 宮田研究奨励金(A)
- 1) 長坂 新:口蓋突起挙上における anterior-posterior 軸に沿った細胞動態の解析. 宮田研究奨励金(A) (2023-A-2)



## 生理学

### E. その他の研究会、講演など

- 1) Naoko Mizoguchi, Visualization of cortical responses to stimulation of olfactory and gustatory neural pathways by *in vivo* optical imaging, Faculty lecture, UT Health San Antonio, USA, Aug.25th 2023.

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費補助金助成事業

- 1) 基盤研究 (C) : 溝口尚子 (代表), 飲食物の「香り」が摂食機能を修飾する神経機構の可視化 (平成 3 年度~令和 5 年度 : 21K10234)

## 口腔小児科学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Takahiro Iijima, Jun Sakai, Dai Kanamori, Shinnosuke Ando, Tsutomu Nomura, Laurence Tisi, Paul Kilgore, Neil Percy, Hikaru Kohase, Satoshi Hayakawa, Shigefumi Maesaki, Tomonori Hoshino and Mitsuko Seki, A New Method to Detect Variants of SARS-CoV-2 Using Reverse Transcription Loop-Mediated Isothermal Amplification Combined with a Bioluminescent Assay in Real Time (RT-LAMP-BART). *International Journal of Molecular Sciences* 24(13) 10698, 2023, 6

### C. その他の刊行物など

- 1) 町谷亜位子, 小口寛子, 元村洋一, 吉川正芳, 松田 哲: フレイル予防に向けた口腔からの早期介入新戦略ー非侵襲的リスク判定法の検討ー. 別冊 *BIO Clinica* Vol.12 No.1, 118-121, 2023,6

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Jun Sakai, Takahiro Iijima, Dai Kanamori, Tomonori Hoshino, Shigefumi Maesaki and Mitsuko Seki, Non-vaccine-serotype-specific identification of *Streptococcus pneumoniae* using the LAMP method. *Federation of European Microbiological Societies (FEMS)*, Hamburg, 2023, 7

#### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 高野智圭, 笹野まり, 関 みつ子, 樽本憲人, 相澤志保子[小峰], 早川 智. 抗菌薬と薬剤耐性 薬剤遺伝子の分子診断. 第 39 回日本産婦人科感染症学会, 長崎, 2023,5

##### (3) 一般演題

- 1) 大淵英恵, 中村昭博, 巢瀬賢一, 金森 大, 龍田恒康, 星野倫範, 上顎嚢胞摘出後に部分床義歯を応用した 1 例, 第 61 回日本小児歯科学会大会 長崎, 2023,5
- 2) 八木 茜, 井出令奈, 金田一千寿慶, 荻原 孝, 星野倫範, 上顎側切歯双生歯の後継永久歯に発育遅延, 萌出遅延が認められた 1 例, 第 61 回日本小児歯科学会大会 長崎, 2023,5

- 3) 柳井有希子, 板倉 剛, 飯島孝太, 荻原 孝, 星野倫範, 中野潤三郎, 口腔内スキャナーを用いて小児保隙装置を作製した 2 例,第 61 回日本小児歯科学会大会 長崎,2023,5
- 4) 関 みつ子, 飯島孝太, 金森 大, 駒澤大悟, 荻原 孝, 星野倫範, 小児の口腔ウイルス叢を探索する, 明海歯科医学会第 50 回学術大会 埼玉,2023,6
- 5) 金森 大. 小児歯科ユニット排水からの SARS-CoV-2 検出の検討, 明海歯科医学会第 50 回学術大会 埼玉,2023,6
- 6) 大淵英恵, 金森 大, 中村昭博, 荻原 孝, 星野倫範, 外傷により歯根破折および舌側転位した上顎乳前歯を整復固定した 1 例, 第 35 回日本小児口腔外科学会学術大会 東京,2023,11
- 7) 吉田美香子, 榊原香子, 梶山莉江, 女ヶ沢美貴, 吉岡典子, 星野倫範: 先天性表皮水疱症患児に対して長期的に口腔管理を行った 1 例, 第 40 回日本障害者歯科学会 北海道,2023,11

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 小口寛子, 島野紗樺, 荒井幹侑, 原 智樹, 榊原香子, 金森 大, 梶山莉江, 大淵英恵, 林 宏子, 水野大樹, 平井美帆, 高本千聖, 金子直子, 中村昭博, 荻原 孝, 吉田美香子, 関 みつ子, 星野倫範, 本学付属明海大学病院小児歯科外来の過去30年間の初診患者の実態調査による30年後の地域小児歯科医療の予想, 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会,埼玉,2023,10
- 2) 榊原香子, 梶山莉江, 吉田美香子, 星野倫範: 埋伏過剰歯と歯牙腫の並存により上顎乳中切歯の萌出障害が生じた 1 例, 日本小児歯科学会第 38 回関東地方会大会 埼玉,2023,10

### E. その他の研究会、講演など

- 1) Dai Kanamori. SARS-CoV-2 in Wastewater from a Pediatric Dental Clinic. International Colloquium in Hanyang University, Ansan, Korea, 2024, 3
- 2) 金森 大. 小児歯科ユニット排水からの SARS-CoV-2 検出の検討. 令和 4 年度日本大学学術研究助成金 (独創的・先駆的研究) 新興感染症・再興感染症に対するレジリエンスを目的とした国際的・学術的研究拠点形成 成果報告会, 日本大学医学部, 東京,2024, 3

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 関 みつ子 (研究代表者), Development of new methods for controlling antimicrobial resistance, 日本学術振興会 二国間交流事業 韓国との共同研究 (NRF), (研究期間 2022-2023 年度)

## 歯科矯正学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 須田直人. 補綴と臨床, (分担), 医歯薬出版, 2023年12月25日.
- 2) 須田直人. 歯科衛生学辞典 第2版, (分担), 永末書店, 2024年2月8日.
- 3) 須田直人. 臨床歯科医学・口腔外科 (分担), 医歯薬出版, 2024年3月10日.

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Mai Fujimoto, Mikiko Mano, Au Sasaki, Hiroya Hasegawa, Masaharu Suzuki, Naoko Nojiri, Yuri Minami, Kazuyuki Tokioka, Naoto Suda. Three-dimensional Analysis of Factors Related to the Effective Alveolar Molding in Presurgical Infant Orthopedics: Findings from a pilot study. *Cleft Palate Craniofac J* 2023 Jul; 60: 843-850. doi: 10.1177/10556656221083804.
- 2) Hajime Sato, Keitaro Satoh, Kazunori Nozaki, Misato Yugawa, Takafumi Kato, Hiroki Toyoda, Ayano Katagiri, Naoto Suda, Kazunori Adachi. Reduced menthol sensitivity in a prodromal Parkinson's disease model induced by intranasal rotenone treatment. *Frontiers in cellular neuroscience* 18: 134561, Feb 2024, DOI: 10.3389/fncel.2024.
- 3) 又平悠里恵, 大塚雄一郎, 佐々木 会, 大島隆史, 須田直人. 顎矯正手術前後の顎変形症患者の口腔内細菌数と洗口液の効果. *明海歯学誌*, 53, 1 : 37-43, 2024.

#### 3. 症例報告

- 1) 加藤悠歩, 藤本 舞, 佐々木 会, 山口浩司, 藤本航大, 園川拓哉, 龍田恒康, 嶋田 淳, 山本信治, 須田直人. 歯科矯正用アンカースクリューを用いた上顎臼歯遠心移動と上顎前歯部歯槽骨切り術によって良好な咬合と顔貌変化が得られた 1 例. *日本顎変形症学会雑誌*, 33 : 59-67, 2023.
- 2) 野尻尚子, 真野樹子, 須田直人. 歯根破折した上顎両側中切歯を便宜抜歯して治療したハイアングル Angle I級叢生症例. *明海歯学誌*, 53, 1 : 62-68, 2024.
- 3) 湯川未郷, 藤本 舞, 大塚雄一郎, 須田直人. 著しい上下顎歯列弓の狭窄による重度叢生および下顎右側第二大臼歯の半埋伏を伴う Angle Class IIハイアングル症例. *明海歯学誌*, 53, 1 : 44-45, 2024.

### C. その他の刊行物など

- 1) 須田直人. 混合歯列期の上顎犬歯の萌出異常に起因した隣在永久歯の歯根吸収. *クインテッセンス* 42, 101-116, 2023.

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Naoto Suda. Orthodontic treatment having difficulty in tooth movement. 9<sup>th</sup> Annual Meeting of Mongolian Association of Orthodontics. Aug19-20, 2023.

#### (2) シンポジウム

- 1) Naoto Suda. 3D-simulation for tooth transplantation in a case with severe root resorption of three maxillary incisors. 94<sup>th</sup> Annual meeting, Edward H. Angle Society of Orthodontics, Midwest component, Feb 2-7, 2024, Naples, Florida, USA.

#### (3) 一般演題

- 1) Yuichiro OTSUKA, Naoto SUDA. A case of facial asymmetry underwent subspinal Le Fort I osteotomy by concerning post-surgical nasal appearance. the 62nd Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Oct 26-27, 2023, Gangneung, Korea.

### 1. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 須田直人. 診察・検査・診断・治療計画立案, 日本顎変形症学会第 19 回教育研修会, 2023 年 5 月 24 日~2024 年 6 月 16 日ウェブ配信.
- 2) 大塚雄一郎. 矯正歯科治療の実際 (術前・周術期・術後), 日本顎変形症学会第 19 回教育研修会, 2023 年 5 月 24 日~2024 年 6 月 16 日ウェブ配信.
- 3) 須田直人. 外科的矯正治療によるあごの形と咬み合わせの治療. 第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会 市民公開講座, 2023 年 6 月 9 日, 東京.

#### (2) シンポジウム

- 1) 佐々木 会、大塚雄一郎、須田直人, 歯科矯正用アンカースクリューによる明海大学病院の外科的矯正治療における変化, シンポジウム 1「アンカースクリューによる顎変形症治療のパラダイムシフト」第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2023 年 6 月 7-9 日, 東京

#### (3) 一般演題

- 1) 真野樹子、時岡一幸、花澤清紀、須田直人. 歯肉骨膜形成術後の骨架橋形成における骨髄移植の有効性, 第 47 回日本口蓋裂学会学術集会, 2023 年 5 月 25,26 日, 東京 (ポスター賞受賞)

- 2) 園川拓哉, 林 宏泰, 原 八重子, 藤本 舞, 佐々木 会, 大塚雄一郎, 大島隆史, 山口浩司, 嶋田 淳, 龍田恒康, 須田直人, 山本信治, 術後の栄養摂取法が患者の回復に及ぼす影響の検討, 第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2023 年 6 月 7-9 日, 東京
- 3) 藤本 舞, 佐々木 会, 大塚雄一郎, 大島隆史, 山口浩司, 林 宏泰, 園川拓哉, 龍田恒康, 山本信治, 須田直人, 上顎骨の片側下方移動と下顎骨下縁部分切除術により顔面非対称の改善を図った hemifacial microsomia の 1 例, 第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2023 年 6 月 7-9 日, 東京
- 4) 林 宏泰, 園川拓哉, 龍田恒康, 原 八重子, 重松久夫, 佐々木 会, 藤本 舞, 山口浩司, 大島隆史, 真野樹子, 大塚雄一郎, 嶋田 淳, 須田直人, 山本信治, 明海大学歯学部附属病院における顎矯正手術の臨床統計学的検討(2015~2021 年), 第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2023 年 6 月 7-9 日, 東京
- 5) 大塚 雄一郎. 嚼筋情報を付加した顎矯正手術シミュレーションの複合現実への応用. 明海歯科医学会第 50 回学術大会, 2023 年 6 月 1 日, 埼玉
- 6) 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 野崎一徳, 湯川未郷, 加藤隆史, 豊田博紀, 片桐綾乃, 安達一典. 遅延性パーキンソン病モデルマウスにおける口腔内メントール感受性の低下. 第 65 回 歯科基礎医学会学術大会, 2023 年 9 月 16-18 日, 東京
- 7) 真野樹子, 時岡一幸, 藤本 舞, 野尻尚子, 花澤清紀, 須田直人. 早期顎裂閉鎖における骨髄移植の有効性. 第 82 回日本矯正歯科学会, 2023 年 11 月 1-3 日, 新潟 (優秀演題賞受賞)
- 8) 山口浩司, 佐々木 会, 藤本 舞, 大島隆史, 又平悠里恵, 小野仁士. 明海大学病院の外科的矯正治療における TADs の使用. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 2023 年 11 月 1-3 日, 新潟
- 9) 又平悠里恵, 大塚雄一郎, 佐々木 会, 山口浩司, 大島隆史, 須田直人. 顎矯正手術前後の顎変形症患者の口腔内環境とマウスリンスの効果. 第 82 回日本矯正歯科学会, 2023 年 11 月 1-3 日, 新潟
- 10) 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 野崎一徳, 湯川未郷, 加藤隆史, 豊田博紀, 片桐綾乃, 安達一典. 遅延性パーキンソン病モデルマウスにおけるメントール感受性の変化. 第 97 回 日本薬理学会年会, 2023 年 12 月 14-16 日, 神戸

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 3) 山口浩司, 佐々木 会, 藤本 舞, 大島隆史, 須田直人. 歯科矯正用アンカースクリューとバイトターボを使用して大白歯を挺出させ治療した骨格性下顎前突過蓋咬合症例. 第 82 回東京矯正歯科学会学術大会, 2023 年 7 月 13 日, 東京

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 須田直人. 歯学部 CBT 問題作成 FD 研修会.北海道医療大学, 2023 年 5 月 19 日.
- 2) 須田直人. 矯正歯科を受診する先天異常疾患. バイオオルソ研究会, 2023 年 5 月 29 日, 東京.
- 3) 須田直人. CBT 問題作成における適切なブラッシュアップを行うための能力を向上させるためのワークショップ. 愛知学院大学, 2023 年 6 月 10 日.
- 4) 須田直人. CBT 講習会. 九州歯科大学, 2023 年 6 月 19 日.
- 5) 須田直人. 動かない歯の矯正治療 - 診査・診断と対処法 -, White Cross ウェブセミナー, 2023 年 8 月 24 日~2024 年 2 月 29 日ウェブ配信.
- 6) 須田直人. 明海大学病院における顎変形症治療. 狭山市・入間市歯科医師会, 2023 年 9 月 30 日.
- 7) 須田直人. 遺伝病の患者会ってどんなもの? 愛知学院大学歯学会, 2023 年 11 月 18 日.
- 8) 大塚雄一郎. 矯正歯科臨床におけるデジタルトランスフォーメーションの未来 - 現状における課題と今後の発展について-.令和 5 年度明海大学歯学部同窓会千葉県支部学術講演会, 2023 年 11 月 25 日, 千葉  
須田直人. 不正咬合はどこまで予防できるのか? 2023 Dentistry Quo Dadis, 2023 年 12 月 17 日, 東京.
- 9) 大塚雄一郎. アンカースクリューを用いた側方拡大 (MARPE), 2024 年明海大学歯科矯正学分野同門会学術講演会, 2024 年 1 月 25 日, 東京.
- 10) 須田直人. この症例って難しい? 東京医科歯科大学顎顔面矯正学分野 教室セミナー, 2024 年 3 月 4 日, 東京.
- 11) 大塚雄一郎. デジタルトランスフォーメーションがもたらす矯正歯科臨床の未来.令和 5 年度明海大学歯学部同窓会高知県支部学術講演会, 2024 年 3 月 24 日, 高知.

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人, 基盤研究(C), 2021 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日 (429 万円)  
研究課題: バイオ 3D プリンターと臍帯由来幹細胞を用いた早期顎裂閉鎖の新規戦略
- 2) 藤本 舞, 若手研究, 2022 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日 (221 万円)  
研究課題: 術前顎矯正に関する因子の検討と光学印象法の確立に関する研究
- 3) 湯川未郷, 若手研究, 2023 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日 (351 万円)  
研究課題: 歯の移動に伴う疼痛のメカニズム解明 -CXCR 系を中心に-

## 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 須田直人, 公益社団法人 日本矯正歯科学会 100周年記念事業 学術研究プロジェクト, 2022年4月1日~2025年3月31日 (300万円)

日本における口唇裂・口蓋裂児への術前顎 矯正の治療指針策定に向けた多施設評価 - 動的矯正治療開始時の不正咬合軽症化に向けて -



# 口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 科 学 分 野

# 生化学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Abe T, Sakagami H, Amano S, Uota S, Bandow K, Uesawa Y, U S, Shibata H, Takemura Y, Kimura Y, Takao K, Sugita Y, Sato A, Tanuma SI, Takeshima H., A Comparative Study of Tumor-Specificity and Neurotoxicity between 3-Styrylchromones and Anti-Cancer Drugs, "Medicines, 10, 43", 2023, 7
- 2) Bandow K, Smith A, Watkins T, Shenk S, Gerami-Naini B, Garlick JA, CC chemokine ligand 20 (CCL20) positively regulates collagen type I production in 3D skin equivalent tissues, "Experimental Dermatology, 32, 379-391", 2023, 4
- 3) Tsukahara T, Kethireddy S, Bonefas K, Chen A, Sutton B, Dou Y, Iwase S, Sutton MA, Division of Labor among H3K4 methyltransferases Defines distinct facets of Homeostatic Plasticity, BioRxiv 2023 Sep 22:2023.09.20.558734 DOI:10.1101/2023.09.20.558734, 2023, 9
- 4) Ryuichiro Suzuki, Yoshiaki Shirataki, Akito Tomomura, Kenjiro Bandow, Hiroshi Sakagami, Mineko Tomomura, Isolation of Pro-Osteogenic Compounds from Euptelea polyandra That Reciprocally Regulate Osteoblast and Osteoclast Differentiation., "International journal of molecular sciences, 24, 17479", 2023, 12
- 5) Tagawa Y, Sakagami H, Tanuma SI, Amano S, Uota S, Bandow K, Tomomura M, Uesawa Y, Takao K, Sugita Y, Yamamoto N, Sakashita H, Nakakaji R, Koizumi T, Mitsudo K, Tohnai I, Potentiation of Anticancer Activity of G2/M Blockers by Mild Hyperthermia, "Anticancer Research, 43, 3429-3439", 2023, 8
- 6) Rivero-Rios P, Tsukahara T, Uygun T, Chen A, Chavis G, Giridharan, Iwase S, Sutton MA and Weisman LS, Recruitment of the SNX17-Retriver recycling pathway regulates synaptic function and plasticity, Journal of Cell Biology 222(7)e202207025, 2023, 5
- 7) 塩野隼也、福田正勝、小笠原悠大、田川裕也、岡本賢幸、春山実紀、向井一眞、林 宏泰、石川真理、原 八重子、山本信治、口腔扁平上皮癌における c-Met の役割について、明海歯科医学 第 52 巻第 2 号, 2023, 9

## C. その他の刊行物など

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Rivero-Rios P, Luo G, Karaburk H, Giridharan S, Tsukahara T, Uygun T, Chavis G, Sutton MA and Weisman LS, Roles of phosphoinositide signaling lipids in receptor recycling from endosomes to the cell surface, "Canadian Society for Molecular Biosciences 2023, Ottawa, Canada", 2023, 6

(3) 一般演題

- 1) Tsukahara T, Iwase S, Sutton MA, Division of Labor among Histone 3 Lysine 4 methyltransferases regulates distinct facets of Homeostatic Plasticity,"Bishr Omary Physiology Postdoctoral Fellow and Research Investigator Symposium, Ann Arbor, Michigan",2023,5
- 2) Masakatsu Fukuda, Hideaki Sakashita and Kenjiro Bandow, CD44 is a key factor of proliferation in oral cancer, IADR ANZ Conference, 2023, 9.
- 3) Rivero-Rios P, Tsukahara T, Uygun T, Chen A, Chavis G, Giridharan S, Iwase S, Sutton MA and Weisman LS, "RECRUITMENT OF THE SNX17-DEPENDENT ENDOMEMBRANE RECYCLING PATHWAY REGULATES SYNAPTIC PLASTICITY", "IBRO Neuroscience Reports 15 S333-S333 2023 年 10 月,Granada, Spain",2023,9

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Masakatsu Fukuda, Kenjiro Bando and Hideaki Sakashita,"CD44 is a key factor of invasion in oral cancer ( CD44 は口腔癌における浸潤の鍵因子である ) ",第 82 回 日本癌学会学術総会, 横浜, 2023, 9
- 2) Tsukahara T, Willey S, Bandow K, Sutton MA, Iwase S,Deciphering the Role of Kdm5c/Kdm5d X-Y Pair genes in neurodevelopmental disorders,生理学研究所シナプス研究会、鹿児島市,2023,10
- 3) 坂東健二郎, 福田正勝, 藤本健吾, マクロファージにおける TREM2 を介した LPS 誘導性ケモカイン発現,"第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京", 2023, 9

## 微生物学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Maki Izawa, Yusei Otaka, Hiroshi Sakagami, Sei-Ichi Tanuma, Shigeru Amano, Shin Uota, Megumi Inomata, Yuka Kato, Hiroshi Kadokura, Satoshi Yokose, Katsuyoshi Sunaga, Yukari Koga-Ogawa, Giichirou Nakaya, Shinji Kito, Comprehensive Study of Anti-UVC Activity and Cytotoxicity of Hot-water Soluble Herb Extracts, *In Vivo*;37(4):1540-1551., 2023, 8
- 2) Yusei Otaka, Maki Izawa, Hiroshi Sakagami, Noriyoshi Shiba, Nobutoshi Takahashi, Sei-Ichi Tanuma, Shigeru Amano, Shin Uota, Megumi Inomata, Satoshi Yokose, Katsuyoshi Sunaga, Shinichiro Hayashi, Yukari Koga-Ogawa, Giichirou Nakaya, Shinji Kito, UVC-Protective Activity of Lemongrass Among 12 Fat-soluble Herbal Extracts: Rapid Decay Due to Cytotoxicity, *In Vivo*;37(6):2464-2472., 2023, 12

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 山根佑介, 石井麻紀子, 申 好鎮, 本野裕士朗, 金谷莉紗子, 内沼真吹, 竹谷佳将, 安部雅世, 猪俣 恵, 申 基喆, *Poryphyromonas gingivalis* 由来 LPS は *in vivo* および *in vitro* においてケモカイン CCL 4 ならびに CCL7 を誘導する, 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会 長崎, 2023, 10
- 2) 猪俣 恵, 安部雅世, 河瀬泰子, 天野 滋, 坂上 宏, ヒト口腔上皮細胞における Dectin-1 の発現と役割, 第 65 回歯科基礎医学会 東京, 2023, 9
- 3) 坂上 宏, 田沼靖一, 天野 滋, 魚田 慎, 猪俣 恵, 大高祐聖, 井澤真希, 鬼頭慎司, 横瀬敏志, 新規クロモン誘導体のヒト口腔扁平上皮癌細胞傷害効果を増強させる因子の探索, 第 65 回歯科基礎医学会 東京, 2023, 9
- 4) 林 徹, 猪俣 恵, 門谷裕一, 長鎖ノンコーディング RNA Malat1 は胎仔マウス顎下腺の分枝形態形成を調節する., 第 129 回日本解剖学会学術集会・総会., 2024, 3
- 5) 末松和真, 平田貴人, 猪俣 恵, 岩橋 均, “日本の伝統的発酵食品から分離したビフィズス菌 *Bifidobacterium psychraerophilum* Yasuke 株を用いたヨーグルト、チーズの作製”, 美味技術学会 東京, 2023, 6

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者 猪俣 恵 基盤研究 (C) デンタルプラーク中の未知の病原因子の特定と歯周炎・誤嚥性肺炎に及ぼす影響の解明, 2021 - 2023

- 2) 研究代表者 安部雅世 基盤研究 (C) *Candida albicans* の「形態変化」が歯周炎の病態に及ぼす影響の解析, 2023 – 2025
- 3) 研究代表者 林 徹 研究分担者 猪俣 恵 基盤研究 (C) 長鎖ノンコーディング RNA Malat1 による分枝形態形成の調節機構の解明, 2021 – 2023

# 歯周病学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 申 基喆/監修, 林 丈一朗/編著, 石井麻紀子, 大塚秀春, 竹谷佳将, 小玉治樹, 上田隼也, 大竹和樹, 夏堀壮一郎/著, 3-step と 3-zone で対応するサポーターティブ・インプラント・セラピー, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2023,6
- 2) 申 基喆/編集, 林丈一朗, 石井麻紀子, 大塚秀春, 竹谷佳将, 小玉治樹, 上田隼也, 内沼真吹/著, 歯周病の診断と治療マニュアル 第8版, 大倉印刷, 東京, 2023,10

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Chuanjiang Zhao, Ryutaro Kuraji, Changchang Ye, Li Gao, Allan Radaic, Pachiyappan Kamarajan, Yoshimasa Taketani and Yvonne L. Kapila, Nisin a probiotic bacteriocin mitigates brain microbiome dysbiosis and Alzheimer's disease-like neuroinflammation triggered by periodontal disease, *Journal of Neuroinflammation* 20(1) 228, 2023,10
- 2) 元村洋一, 竹谷佳将, 金谷莉紗子, 塩田幸一朗, 上田隼也, 小玉治樹, 大塚秀春, 石井麻紀子, 鈴木玲爾, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯肉剥離掻爬術後の口腔関連 QOL と疼痛の評価, *明海歯科医学* 52(2) 86-95, 2023,10

### 2. 総説

- 1) 蓮池 聡, 今村健太郎, 高橋慶壮, 林 丈一朗, 安田忠司, 目澤 優, 田中真喜, 小玉利朗, 辰巳順一, インプラント周囲炎の診断・リスク因子・治療に関するエビデンスと今後の課題, *日本歯周病学会誌* 65(3) 81-92, 2023,10

## C. その他の刊行物など

- 1) 林 丈一朗, 歯科医師に伝えたいサポーターティブ・インプラント・セラピー, **WHITE CROSS** 歯科医師向け情報サイト, 2024,3
- 2) 林 丈一朗, 歯科衛生士に伝えたいサポーターティブ・インプラント・セラピー, **WHITE CROSS** 歯科医師向け情報サイト, 2024,3
- 3) 申 基喆, 歯科会の権威が語る最新のインプラント、歯周再生療法, 第8回インプラント歯周再生研究会, 2023,9
- 4) 竹谷佳将, 撤去が必要なインプラント体への対応方法, 埼玉歯だより, No.589, P.28-30, 埼玉県歯科医師会, 2024,3
- 5) 林 丈一朗, 臨床のヒント ガミースマイルの新しい治療法, 埼玉歯だより, No. 586,

- P.11-13, 埼玉県歯科医師会, 2023,6
- 6) 林 丈一朗, CQ4 糖尿病患者に対して歯周組織再生療法を行うことは可能か?, 特定非営利活動法人 日本歯周病学会編, 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン 改訂第3版, P.79-82, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2023,6
  - 7) 申 基喆, 林 丈一朗, ネクストビジョンで変わる! 歯科臨床教育 第1回 歯周外科治療での活用, Dental Products News, 249号, P.6-7, 2023,6
  - 8) 申 基喆, 大塚秀春, ネクストビジョンで変わる! 歯科臨床教育 第2回 新時代の患者教育とブラッシング指導, Dental Products News, 250号 P. 20-21, 2023,9
  - 9) 申 基喆, 小玉治樹, ネクストビジョンで変わる! 歯科臨床教育 第3回 教育現場での活用, Dental Products News, 251号, P. 26-27, 2023,11
  - 10) 申 基喆, 上田隼也, ネクストビジョンで変わる! 歯科臨床教育 第4回 歯科臨床教育における情報伝達のシームレス化, Dental Products News, 252号, P.14-15, 2024.2
  - 11) 申 基喆, ペリインプラントタイトィスの予防と対策, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023,9
  - 12) 竹谷佳将, ロサンゼルス留学だより, ヒポクラテスたち, No.44, P.26, 明海大学歯学部同窓会岡山県支部, 2024,3

#### D. 学会発表

##### (3) 一般演題

- 1) Yoshimasa Taketani, Allan Radaic, Pachiyappan Kamarajan, Christopher Kazu Williams, Shino Magaki and Yvonne Kapila, Association between Alzheimer's Disease and Periodontal Pathogens in Brain, UCLA School of Dentistry Research and Clinical Excellence Day 2024, Los Angeles, CA, USA, 2024,2
- 2) Haruki Kodama, Joichiro Hayashi, Yusuke Yamane, Mabuki Uchinuma, Junya Ueda, Hideharu Otsuka, Makiko Ishii and Kitetsu Shin, Clinical study of bleeding on probing around implants in patients with periodontal disease, American Academy of Periodontology 109th Annual Meeting, Austin, 2023,11
- 3) Allan Radaic, Pachiyappan Kamarajan, Yoshimasa Taketani, Jeffrey Harding, Michael J Tisza, Sara Joan Javornik Cregeen, Matthew Clayton Ross, Joseph Petrosino, Francisco Ramos-Gomez, Yan Wang, Jing Wen, Tien Dong, Christopher Williams, Shino Magaki and Yvonne L. Hernandez-Kapila, Mapping the Human Virome of the Oral-Gut-Brain Axis in Humans, UCLA School of Dentistry Research and Clinical Excellence Day 2024, Los Angeles, CA, USA, 2024,2
- 4) Allan Radaic, Yoshimasa Taketani, Pachiyappan Kamarajan, Christopher Kazu Williams,

Shino Magaki and Yvonne Kapila, Progression of Alzheimer's Disease Correlates with a Shift in *Treponema denticola* Presence from the Occipital to the Frontal Lobe in the Human Brain, 2024 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition, New Orleans, LA, USA, 2024,3

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) 林 丈一朗, “切除療法” 歯周治療からインプラント周囲疾患・ガミースマイルの治療まで, 日本臨床歯周病学会第 41 回年次大会, 福岡, 2023,6
- 2) 林 丈一朗, 3-step と 3-zone で対応するサポータティブ・インプラント・セラピー, ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023, 東京, 2023,7
- 3) 申 基喆, ネクストビジョンで変わる! 新時代の歯科臨床教育, 第 41 回日本顎咬合学会学術大会 メーカーシンポジウム, 2023,6
- 4) 申 基喆, バイオマテリアルによる組織再生・歯周組織再生・硬軟組織再生・バイオマテリアルの適応症と選択, Straumann FORUM 2023, 2023,7
- 5) 林 丈一朗, 臼歯部インプラント周囲のソフトティッシュマネジメント, 第 41 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2023,6

### (3) 一般演題

- 1) 石井麻紀子, CXCR3 アンタゴニスト局所投与が歯周炎に与える影響に関する研究—第 2 報—, 明海歯科医学会第 50 回学術大会, 坂戸, 2023,6
- 2) 内沼真吹, 竹谷佳将, 金谷莉紗子, 小玉治樹, 林 丈一朗, 申 基喆, *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS とメカニカルストレスによる骨吸収における Piezo1 の関与, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023,5
- 3) 山根佑介, 石井麻紀子, 申 好鎮, 本野裕士朗, 金谷莉紗子, 内沼真吹, 竹谷佳将, 安部雅世, 猪俣 恵, 申 基喆, *Porphyromonas gingivalis* 由来 LPS は in vivo および in vitro においてケモカイン CCL4 ならびに CCL7 を誘導する, 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023,10
- 4) 大竹和樹, 安井雄一郎, 林 丈一朗, 申 基喆, インプラント周囲炎に対して外科的対応を行った 5 年経過症例, 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023,10
- 5) 大竹和樹, 安井雄一郎, 林 丈一朗, 申 基喆, インプラント周囲炎に対して外科的対応を行った 5 年経過症例, 令和 5 年度埼玉県歯科医学大会, 浦和, 2024,3
- 6) 石井麻紀子, 山根佑介, 塩田幸一郎, 上田隼也, 大塚秀春, Flavia Q. Pirih, 申 基喆, マウス歯周炎モデルにおける CXCR3 アンタゴニスト局所投与が歯周組織に与える影響, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023,5
- 7) 上田隼也, 脇田有貴, 齋藤大嵩, 山本文太, 飯島孝典, 塩田幸一郎, 上條皓平, 小玉治樹, 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯科用咬合力測定システムを用い



た歯周炎重症度と咬合力に関する臨床研究, 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023, 10

- 8) 上田隼也, 脇田有貴, 齋藤大嵩, 内沼真吹, 竹谷佳将, 大塚秀春, 市村 光, 石井麻紀子, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯科用咬合力測定システムを用いた歯周炎重症度と咬合力に関する臨床研究, 令和5年度埼玉県歯科医学大会, 浦和, 2024, 3

E. その他の研究会、講演など

- 1) 林 丈一朗, “やさしい”ソフトティッシュマネジメント, 令和5年度清瀬市歯科医師会学術講演会, 東京都清瀬市, 2024, 2
- 2) 申 基喆, 歯科医師・歯科衛生士合同シンポジウム座長, 日本臨床歯周病学会第41回年次大会, 2023, 6
- 3) 申 基喆, 洗口液によるオーラルケアを見直す -歯周・インプラント治療へのモルダミン ハビットプロの応用-, 第41回日本顎咬合学会学術大会ランチョンセミナー, 2023, 6
- 4) 申 基喆, CE Master Clinician アドバンスセミナー-3- ペリオドンタル&ペリインプラント・プラスチック (ライブオペ、2日間コース), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 12
- 5) 竹谷佳将, My Research Days in Kapila's Lab, 第66回 Westwood Dental Study Club/西森組 講演会, Los Angeles, CA, USA, 2023, 12
- 6) 林 丈一朗, クリニカルスキルアップセミナー (デモンストレーションコース) 歯周治療 (ルートプレーニング) 歯周治療におけるインスツルメンテーション, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 7
- 7) 林 丈一朗, ペリオドンタルアドバンスセミナー-2- ペリオとインプラントのためのハードティッシュマネジメント, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 11
- 8) 林 丈一朗, マルチディシプリナリーアプローチ 1 (歯周コース 1), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 5
- 9) 林 丈一朗, マルチディシプリナリーアプローチ 2 (歯周コース 2), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 5
- 10) 林 丈一朗, マルチディシプリナリーアプローチ 5 (歯周コース 5), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 7
- 11) 林 丈一朗, マルチディシプリナリーアプローチ 6 (歯周コース 6), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 浦安, 2023, 7
- 12) 林 丈一朗, 口腔機能回復治療としてのインプラント治療, 九州大学歯学部歯周病学1講義, 福岡, 2023, 12
- 13) 申 基喆, 骨結合型インプラントにおけるハード & ソフトティッシュマネジ

メント日本歯科先端技術研究所主催 日本口腔インプラント学会認定講習会，  
2023,7

- 1 4) 石井麻紀子，歯周病患者の機能回復 Konus Telescope System を用いた機能回復，  
明海大学歯学部同窓会，坂戸，2024,2
- 1 5) 林 丈一郎，低侵襲ソフトティッシュマネジメント，令和5年度 公益社団法人  
日本補綴歯科学会 東関東支部学術大会 生涯学習公開セミナー，浦和，2024,3
- 1 6) 林 丈一郎，低侵襲ソフトティッシュマネジメント Minimally Invasive Soft Tissue  
Management，ニューヨーク大学歯学部生涯研修プログラム，新宿，2023,7
- 1 7) 申 基喆，インプラントの長期安定性をふまえたソフトティッシュマネジメン  
トとメンテナンス，北日本口腔インプラント研究会（N I S）主催 日本口腔  
インプラント学会認定講習会，2023,7

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 竹谷佳将，カルシウムイオンチャンネルに着目した外傷性咬合を伴う歯周炎の新規  
治療法の基礎的研究，科学研究費助成事業 若手研究 R5年～R7年度，2023,4

##### 3. 宮田研究奨励金（A）

- 1) 石井麻紀子，CXCR5 アンタゴニストが歯周炎の進行抑制に与える影響に関する研  
究，2023年度宮田研究奨励金 A，2023,6

## 基礎生物学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Ari Matsumoto, Miki Hiroi, Kazumasa Mori, Nobuharu Yamamoto, Yoshihiro Ohmori. Differential Anti-Tumor Effects of IFN-Inducible Chemokines CXCL9, CXCL10, and CXCL11 on a Mouse Squamous Cell Carcinoma Cell Line. *Med. Sci.* 11(2): 2023.
- 2) Fumio Ide, Shinnichi Sakamoto, Yuji Miyazaki, Miyako Hoshino, Michiko Nishimura, Takashi Muramatsu, Kentaro Kikuchi. The True History of Cementoblastoma. *Head Neck Pathol.* 17: 528-533, 2023.
- 3) Fumio Ide, Shinnichi Sakamoto, Yuji Miyazaki, Michiko Nishimura, Yumi Ito, Takashi Muramatsu, Kentaro Kikuchi. Warthin Tumor of the Parotid Gland: The History of an Eponym. *Head Neck Pathol.* 17: 775-781, 2023.
- 4) Fumio Ide, Shinnichi Sakamoto, Yuji Miyazaki, Michiko Nishimura, Takashi Muramatsu, Kentaro Kikuchi. Revisiting the History of Odontoma, with Special Reference to Its Original Illustration. *Head Neck Pathol.* 17: 976-983, 2023.
- 5) Fumio Ide, Shinnichi Sakamoto, Michiko Nishimura, Yuji Miyazaki, Kentaro Kikuchi. Historical Notes on Ossifying Fibroma of the Mandible. *Head Neck Pathol.* 17: 1021-1025, 2023.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 廣井美紀. マウス舌癌モデルにおけるケモカイン受容体アンタゴニストによる腫瘍免疫制御. 第50回明海歯科医学会学術大会

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 廣井美紀. 口腔癌発症における骨髄由来免疫抑制細胞(MDSC)による腫瘍免疫抑制作用の検討. 研究分担者 基盤 C

# 基礎化学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 中田和明, 宮崎裕司, 稲葉明美, 藤本健吾: 科学実験演習. リュウワ印刷, 川越, 2023. 9

# 機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

有床義歯補綴学分野

クラウン・ブリッジ補綴学分野

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

# 歯科生体材料学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 長沢悠子, 江田義和, 重田浩貴, 中畠 裕, 日比野 靖. Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 2023, 4
- 2) 日比野 靖, 長沢悠子, 中畠 裕. 義歯用材料. In: スタンダード歯科理工学—生体材料と歯科材料—第8版, 学建書院, 東京, pp.273-306, 2024, 3
- 3) 長沢 悠子. 歯科衛生学辞典第2版(分担執筆), 永末書店, 京都, 2024, 2
- 4) 日比野 靖. 歯科衛生学辞典第2版(分担執筆), 永末書店, 京都, 2024, 2

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Eda Y, Nagasawa Y, Nakajima H, Hibino Y. Effect of Curing/Storage Conditions on Biaxial-Flexural-Strength of Resin Cement, 102nd General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, 2024. 3
- 2) Nagasawa Y, Eda Y, Nakajima H, Hibino Y. Effect of hot-Water Immersion on Flexural Strength of CAD/CAM Composite-Resin, 102nd General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, 2024. 3

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 松本篤樹, 江田義和, 重田浩貴, 長沢悠子, 鈴木玲爾, 中畠 裕, 日比野 靖. CAD/CAM 用義歯床用アクリルレジンの表面粗さが常温重合レジンの接着強さに及ぼす影響, 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 2023, 4
- 2) 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 重田浩貴, 尾松 純, 栗田 智, 中畠 裕, 日比野 靖. HEMA フリー2 ステップ接着材へのエアブローが接着強さに及ぼす影響, 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 2023, 4
- 3) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 高橋洋子, 松川 泉, 中畠 裕, 日比野 靖. 熱処理がケイ酸リチウムガラスセラミックスブロックの機械的性質に及ぼす影響, 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 2023, 4
- 4) 重田浩貴, 長沢悠子, 江田義和, 松本賢一, 和田賢一, 中畠 裕, 日比野 靖. 粉液比がアクリルアミド系モノマー含有充填用レジン添加型グラスアイオノマーセメントの諸性質に及ぼす影響, 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 2023, 4

E. その他の研究会、講演など

- 1) 長沢悠子. 歯科用セメントの最近の動向. 明海大学歯学部同窓会学術研修会神奈川県支部, 横浜, 2023, 12
- 2) 長沢悠子. 歯科用セメントの現状. 明海大学歯学部同窓会学術研修会大阪府支部, 大阪, 2024, 2

# 有床義歯補綴学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 小山夏実, 谷内佑起, 野嶋琢也, 大川周治, 藤澤政紀, 岡本和彦, RGB/深度カメラを応用した非接触型咀嚼運動分析システムの構築と応用 日本咀嚼学会雑誌 33 巻 2 号, 2023.11
- 2) 曾根峰世, 松本大慶, 谷内佑起, 青木健児, 沼澤美詠, 鳴海史子, 内田茂則, 小山夏実, 猪山佑香, 坂本大輔, 岡本和彦, CAD/CAM により製作したジルコニア製根面板の適合性に関する基礎的研究—高精度スキャナーの応用— 日本磁気歯科学会誌第 32 巻 1 号, 2023.12
- 3) M. Sone, D. Matsumoto, M. Numazawa, S. Uchida, Y. Inoyama, D. Sakamoto, K. Okamoto, and M. Fujisawa, A case report of a removable partial denture using magnetic attachments of different designs on intermediate missing mandibular molars 日本磁気歯科学会誌第 32 巻 2 号, 2023.12

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Mineyo SONE, Kenji AOKI, Daikei MATSUMOTO, Yuki TANIUCHI, Mie NUMAZAWA, Fumiko NARUMI, Natsumi KOYAMA, Kazuhiko OKAMOTO, A case report of removable partial dentures using magnetic attachments for problematic dental implants Program of the 23rd International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, February 26 to March 15, 2024
- 2) Mineyo SONE, Daikei MATSUMOTO, Yuki TANIUCHI, Kenji AOKI, Mie NUMAZAWA, Fumiko NARUMI, Natsumi KOYAMA, Kazuhiko OKAMOTO, A pilot study on the fitness of a titanium root coping fabricated by CAM system—Application of a high-precision scanner Program of the 23rd International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, February 26 to March 15, 2024

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 谷内佑起, 青木健児, 渡邊浩志, 荒井皓一郎, 岡本和彦, 三次元有限要素モデルによる義歯床下粘膜の挙動解析 第 81 回日本歯科理工学会学術講演会 (東京), 2023.4



- 2) 谷内佑起, 青木健児, 渡邊浩志, 荒井皓一郎, 曾根峰世, 大川周治, 岡本和彦, 藤澤政紀, 有限要素法による全部床義歯における義歯床下粘膜挙動の解析 日本補綴歯科学会第 132 回学術大会 (神奈川), 2023. 5
- 3) 荒井皓一郎, 谷内佑起, 青木健児, 岡本和彦, 渡邊浩志, 義歯床下粘膜挙動の有限要素法解析のためのモデル化に関する検討 日本機械学会 M&M2023 材料力学カンファレンス (茨城), 2023. 9
- 4) 松本大慶, 曾根峰世, 小山夏実, 谷内佑起, 青木健児, 鳴海史子, 沼澤美詠, 岡本和彦, CAD/CAM により製作したチタン製根面板の適合性に関する基礎的研究 第 33 回日本磁気歯科学会学術大会 (東京), 2023, 11
- 5) 青木健児, 曾根峰世, 松本大慶, 谷内佑起, 沼澤美詠, 鳴海史子, 小山夏実, 岡本和彦, インプラントトラブル後の咬合再建に磁性アタッチメント義歯を装着した 1 症例 第 33 回日本磁気歯科学会学術大会 (東京), 2023, 11

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 鳴海史子, 松本大慶, 谷内佑起, 青木健児, 沼澤美詠, 内田茂則, 曾根峰世, 岡本和彦, CAD/CAM で製作したハイブリッド型レジン製根面板の適合性の基礎的研究 令和 5 年度日本補綴歯科学会東関東支部学術大会 (埼玉), 2024.3

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Miura S, Shinya A, Ishida Y and Fujisawa M. Mechanical and surface properties of additive manufacturing zirconia under the different building directions. *J Prosthodont Res* 2023; 67: 410-417.  
[https://doi.org/10.2186/jpr.JPR\\_D\\_22\\_00166](https://doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_22_00166)
- 2) Miura S, Shinya A, Ishida Y, Fujita T, Vallittu P, Lassila L and Fujisawa M. The effect of low-temperature degradation and building directions on the mechanical properties of additive-manufactured zirconia. *Dent Mater J* 2023; 42: 800-805. <https://doi.org/10.4012/dmj.2023-089>
- 3) Asami K, Fujisawa M, Saito-Murakami K, Miura S, Fujita T, Imamura Y and Koyama S. Assessment of awake bruxism-Combinational analysis of ecological momentary assessment and electromyography-. *J Prosthodont Res* 2023; 68: 166-171. [https://doi.org/10.2186/jpr.JPR\\_D\\_22\\_00289](https://doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_22_00289)
- 4) Miura S, Shinya A, Koizumi H, Vallittu P, Lassila L and Fujisawa M. Effect of low-temperature degradation and sintering protocols on the color of monolithic zirconia crowns with different yttria contents. *Dental Materials Journal* 2023. *Dent Mater J* 2024; 43: 164-171.  
<https://doi.org/10.4012/dmj.2023-194>
- 5) 小山夏実, 谷内佑起, 野嶋琢也, 大川周治, 藤澤政紀, 岡本和彦. RGB/深度カメラを応用した非装着型咀嚼運動分析システムの構築と応用. *日咀嚼誌* 2023; 33: 69-82.
- 6) Matsumoto D, Sone M, Koyama N, Taniuchi Y, Aoki K, Matsukawa T, Narumi F, Okamoto K and Fujisawa M. A pilot study on the fitness of a zirconia keeper coping fabricated by CAM system - Application of a high-precision scanner. *J J Mag Dent* 2023; 32: 4-7.

#### 3. 症例報告

- 1) Miura S, Fujita T, Kohashi Y and Fujisawa M. Patient with dental metal allergy treated with zirconia ceramic restorations. *Asian Pac J Dent* 2023; 23: 24-27.  
<https://doi.org/10.47416/apjod.23-0003>
- 2) Sone M, Matsumoto D, Numazawa M, Uchida S, Inoyama Y, Sakamoto D, Okamoto K and Fujisawa M. A case report of a removable partial denture using magnetic attachments of different designs on intermediate missing mandibular molars. *J J Mag Dent* 2023; 32: 1-3.

## C. その他の刊行物など

- 1) 三浦賞子. モノリシックジルコニアレストレーションを審美的に成功に導く  
Key point . 歯界展望 2023; 141: 720-733.
- 2) 三浦賞子. 「世界の研究室から」第一報：フィンランドにて考えるワークライフ  
バランス. 接着歯学 2023; 41: 11-12.  
[https://doi.org/10.11297/adhesdent.41.1\\_11](https://doi.org/10.11297/adhesdent.41.1_11)
- 3) 藤澤政紀. 前歯部補綴治療の守備範囲を広げる「ラップアラウンド・プロビジョ  
ナルレストレーション」の提案 - 必要性を認めるまでは可及的に支台歯を削らな  
いためのアプローチ. QDT 2023; 48: 628-640.
- 4) 村上小夏, 浅見和哉, 藤澤政紀. ブラキシズム 24hours-睡眠時・覚醒時ブラキシ  
ズムの検査・診断法-. 日中のブラキシズム-筋電図による検査とバイオフィード  
バック療法-. 歯界展望 2023; 141: 1095-1103.
- 5) 窪田 努, 三浦賞子, 片野 潤, 藤松 剛. Feature article #1 座談会 IDS2023  
参加者がみた最新事情. QDT 2023; 48: 24-45.
- 6) 三浦賞子. 「世界の研究室から」第二報：日々のサーマルサイクリングと忍耐. 接  
着歯学 2023; 41: 41-43.
- 7) 藤澤政紀, 藤田崇史. モノリシックジルコニアレストレーションの臨床 UPDATE9 -  
モノリシックジルコニアクラウンブリッジの臨床例 -. 歯界展望 2023; 142:  
558-569.
- 8) 三浦賞子. 付加製造法を応用したジルコニア製補綴装置の現状と可能性. 歯界展  
望 2023; 142: 688-695.
- 9) 三浦賞子. 世界の学食 University of Turku ートウルク大学のカフェテリアとフ  
ィンランドの食事ー. New Food Indust 2024; 66: 33-39.
- 10) 藤澤政紀, 三浦賞子, 藤田崇史. CAD/CAM 冠による日常臨床の基本と注意点. 日  
歯医師会誌 2024.

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Fujisawa M. Challenge to Bruxism -Management by daytime biofeedback and  
Prosthetic approach to severe Bruxers. Korean Academy of Stomatognathic  
Function and Occlusion (KASF0). 2023/11. (ソウル)

#### (2) シンポジウム

- 1) Fujisawa M. Effect of daytime biofeedback on sleep bruxism. 101th  
International Association for Dental Research (IADR). 2023/6. (ボゴタ)

(3) 一般演題

- 1) Miura S, Fujisawa M, Vallittu P and Lassila L. Effect of different thicknesses of multilayered zirconia on transparency. 7th International congress on adhesive dentistry. 2023/6. (コンヤ)
- 2) Fujita T, Miura S, Tsukada S and Fujisawa M. Effect of abutment type on the color of the anterior composite crowns. 101th International Association for Dental Research (IADR). 2023/6. (ボゴタ)

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 藤澤政紀. 顎関節症と咬合を再考する コホート調査からみた顎関節症と咬合因子. 第36回日本顎関節学会総会・学術大会. 2023/7. (東京)
- 2) 三浦賞子. クラウンブリッジのデジタルワークフローにおける歯科医師と歯科技工士のチームプレイ. 第38回日本歯科産業学会学術講演会. 2023/8. (東京)

(3) 一般演題

- 1) 藤田崇史, 三浦賞子, 新谷明一, 石田祥己, 藤澤政紀. 低温劣化が付加製造ジルコニアの機械的性質に及ぼす影響. 第132回日本補綴歯科学会学術大会. 2023/5. (神奈川)
- 2) 塚田翔平, 三浦賞子, 藤田崇史, 村上小夏, 前田拓郎, 藤澤政紀. 高透光性ジルコニアの厚さの違いが透明度に及ぼす影響. 第132回日本補綴歯科学会学術大会. 2023/5. (神奈川)
- 3) 井口 将, 三浦賞子, 塚田翔平, 今村嘉希, 浅見和哉, 小山志保, 藤澤政紀. コート材が前歯部用コンポジットレジンブロックの色調へ及ぼす影響. 第132回日本補綴歯科学会学術大会. 2023/5. (神奈川)
- 4) 谷内佑起, 青木健児, 渡邊浩志, 荒井皓一郎, 曾根峰世, 大川周治, 岡本和彦, 藤澤政紀. 有限要素法による全部床義歯における義歯床下粘膜挙動の解析. 第132回日本補綴歯科学会学術大会. 2023/5. (神奈川)
- 5) 浅見和哉, 藤澤政紀. 筋電図と生態学的瞬間評価の組合せによる覚醒時ブラキシズムの評価. 第36回日本顎関節学会総会・学術大会. 2023/7. (東京)
- 6) 藤澤政紀, 三浦賞子, 新谷明一, 前野雅彦, 小峰 太, 保坂啓一, 峯 篤史, 佐藤洋平, 大槻昌幸, 金子 潤, 山本一世, 越智守生, 窪田佳寛. 口元の審美意識と全身状態の関係 ―学会主導型研究進捗状況報告―. 第34回日本歯科審美学会学術大会. 2023/12. (鹿児島)
- 7) 藤田崇史, 三浦賞子, 塚田翔平, 井口 将, 竹谷沙織, 佐藤 剛, 藤澤政紀. 歯

列不正を伴う上顎前歯欠損に対してジルコニアカンチレバー接着ブリッジを装着した1症例. 第34回日本歯科審美学会学術大会. 2023/12. (鹿児島)

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀. 力のコントロールに配慮した歯科治療 —ブラキサーの診断と対応—. 埼玉県歯科医学大会特別講演. 2024/3. (浦和)

#### (3) 一般演題

- 1) 村上小夏. 生態学的瞬間評価を併用した覚醒時ブラキシズムの筋電図評価. 第50回明海歯科医学会学術大会. 2023/6. (埼玉)
- 2) 三浦寛貴, 山崎裕子, 益子千慧, 村上小夏, 浅見和哉, 今村嘉希, 藤澤政紀. パックレストの有無が嚥下機能に及ぼす影響. 第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 2023/10. (埼玉)
- 3) 井口 将, 三浦賞子, 塚田翔平, 藤田崇史, 村上小夏, 今村嘉希, 浅見和哉, 前田拓郎, 小山志保, 藤澤政紀. 表面滑沢硬化材の硬質レジンに対する接着強さに関する研究. 令和5年度日本補綴歯科学会東関東支部総会・学術大会. 2024/3. (埼玉)

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀. 顎関節症に咬合が関係ないって本当?. 明海大学アメリカンフットボールOB会学術講演会. 2023/6. (埼玉)
- 2) 藤澤政紀. やっかいなブラキシズム—プロが教える診断と対処法—. 1D 歯科セミナー. 2023/6. (Web)
- 3) 藤澤政紀. 日常生活に活かす審美歯科治療の基礎と勘所. 徳島大学キャリアアップ講演会・講習会. 2023/9. (徳島)
- 4) 藤澤政紀. ブラキサーへの対応—検査と補綴処置の勘所—. 令和5年度岩手医科大学歯学部同窓会北海道支部 学術講演会. 2023/10. (北海道)
- 5) 浅見和哉. 顎関節症・ブラキシズム 我々は本当に評価を行っているか. 宇都宮スタディグループ五一臨床研究会学術講演会. 2023/11. (栃木)
- 6) 藤澤政紀. 長〜〜いブリッジが上手くなるコツ ロングスパンブリッジの診断・手技・マネジメント. 1D 歯科セミナー. 2023/12. (Web)
- 7) 藤澤政紀. 小児のブラキシズムを考える. 1D 歯科セミナー. 2024/1. (Web)
- 8) 藤澤政紀. ブラキシズムの診断とマネージメントそして補綴歯科治療. 一般社団法人 大崎歯科医師会学術講演会. 2024/2. (宮城)
- 9) 三浦賞子. 日常臨床に活かすデジタル歯科診療. 高崎市歯科医師会学術講演会.

2024/3. (群馬)

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 村上小夏. 生態学的瞬間評価を用いたバイオフィードバック訓練によるブラキシズム抑制効果の検証, 2021-2023 年度科学研究費助成事業 若手研究 (21K17071)
- 2) 藤澤政紀. 生態学的瞬間評価と筋電計を用いた覚醒時ブラキシズム判定, 2021-2023 年度科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般) (21K10007)
- 3) 藤田崇史. 積層造形法にて製作したジルコニアクラウンへの色調再現方法の検討, 2022-2024 年度科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般) (22K10107)
- 4) 三浦賞子. 付加造形法によるジルコニアクラウンの臨床展開へ向けた製作法の確立. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般) (21K10026)

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 三浦賞子. イットリア含有量の異なるジルコニアの焼結条件が機械的性質に及ぼす影響. スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団.
- 2) 三浦賞子. 歯科用ジルコニアの変遷とその臨床応用に関する調査研究. 日本歯科医学会連合 令和 5(2023)年度 医療問題関連事業.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 浅見和哉. EMG と EMA による覚醒時ブラキシズムと臨床的所見の関連性. 宮田研究奨励金 【A】. 2023
- 2) 藤田崇史. 積層造形法によるジルコニア補綴装置の精度向上の検討. 宮田研究奨励金 【E】. 2023

# 保存治療学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 加藤邑佳, 門倉弘志, 横瀬敏志 : Laser Endodontics の可能性を探る. 日本歯科評論, 83(11), 51-63, 2023 年 11 月
- 2) 小木曾文内(著, 編集), 古澤成博(著, 編集), 武市 収(著, 編集), 横瀬敏志, 小林健二, 和田 恵 : スピード解決! 歯内療法 Q&A. 永末書店, 2023, 5
- 3) 加藤邑佳, 門倉弘志, 和田恵, 河野宗光, 磯英介, 山崎崇秀, 吉野 晃, 横瀬敏志 : 歯科用レーザーに関する最新知見 今こそレーザーを見直そう! 骨代謝に及ぼす新たなレーザーの作用が見えてきた. 日本歯科評論, 83(10), 27-41, 2023 年 10 月
- 4) 古澤成博, 斎藤隆史, 菅野亜紀, 林 美加子, 村松 敬, 山本一世, 吉田 隆(著者), 加藤邑佳他 : 歯科衛生士講座, 保存修復学・歯内療法学, 永末書店, p280, ISBN:9784816014246, 2023, 4

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Izawa M, Otaka Y, Sakagami H, Tanuma SI, Amano S, Uota S, Inomata M, Kato Y, Kadokura H, Yokose S, Sunaga K, Koga-Ogawa Y, Nakaya G, Kito S : Comprehensive Study of Anti-UVC Activity and Cytotoxicity of Hot-water Soluble Herb Extracts. In Vivo, 2023, 7
- 2) Munemitsu Kawano, Kei Wada, Yuichi Hemmi, Satoshi Yokose : Effect of Nd:YAG laser on bone formation in rat tibia defects: three-dimensional micro-computed tomography image analysis. Lasers in medical science 8;38(1):158., 2023, 7
- 3) Yui Ishida, Yuka Kato, Rina Iwamoto, Nobuyuki Udagawa, Akihiko Hasegawa, Satoshi Yokose : Effects of irradiation by carbone dioxide laser equipped with water spray function on bone formation in rat tibiae. In Vivo, 2023, 4
- 4) 土屋隆子, 西田伊織, 逸見裕一, 市村 葉, 横瀬敏志 : 歯科教育用患者ロボットシミュレーションシステム”SIMROID”を用いた教育の効果—第 1 報—. 明海歯科医学雑誌, 53 卷 1 号, 30-36

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 加藤邑佳 : 光を用いた歯科治療の最前線, 第 34 回日本レーザー治療学会 総会・学術大会 シンポジウム 8「歯科分野におけるレーザーの生物学的効果と可能性」栃木, 2023, 6

(2) シンポジウム

- 1) 横瀬敏志：レーザーの新たな魅力に迫る．第 41 回日本顎咬合学会,東京, 2023,6,18
- 2) 横瀬敏志：骨代謝と Photobionodulation. 第 24 回 Er:YAG レーザー 臨床研究会学術大会,京都,2023,8,6,基調講演
- 3) 横瀬敏志：Laser を応用した歯髄再生療法と Laser Endodontics の開発茨城,2023,10,22,特別講演
- 4) 加藤邑佳, 横瀬敏志：光を用いた歯科治療の最前線．第 34 回日本レーザー治療学会総会・学術大会,栃木,2023,6,18,シンポジウム 8

(3) 一般演題

- 1) 逸見祐一, 和田 恵, 河野宗光, 横瀬敏志：Nd: YAG レーザー照射がオッセオインテグレーションに及ぼす影響．第 35 回日本レーザー歯学会,東京,2023,11
- 2) 磯 英介, 加藤邑佳, 横瀬敏志：ラット培養骨髄細胞の分化における半導体レーザー照射の影響．特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 158 回 Page63,東京,2023,5
- 3) 加藤邑佳, 石田 結, 横瀬敏志：ラット脛骨を用いた注水機能を備えた炭酸ガスレーザー照射による骨形成に及ぼす作用．特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 158 回 Page70,東京,2023,5
- 4) 加藤邑佳：注水機能搭載型高出力炭酸ガスレーザーの作用における基礎研究と臨床例．第 21 回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会 一般講演,茨城,2023,10
- 5) 加藤邑佳, 横瀬敏志, 培養歯髄細胞の Dentinogenesis における Wnt10a と Ectodin の作用について．日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集 44 回 Page88,東京,2023,7
- 6) 土屋隆子, 西田伊織, 市村 葉, 横瀬敏志：SIMROID を用いた病院実習生への学習効果．第 159 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 静岡,2023,11
- 7) 小林典加, 吉野 晃, 保刈彩華, 横瀬敏志：注水下炭酸ガスレーザーの HA インプラント表面性状への影響．第 35 回日本レーザー歯学会,東京,2023.9
- 8) 阿部俊人, 門倉弘志, 横瀬敏志：感染根管治療の過程で CBCT により上顎左側第一大臼歯と第二小臼歯の癒合が確認された症例．令和 5 年度 埼玉県歯科医学大会 2024.3.17

E. その他の研究会、講演など

- 1) 市村 葉：明海大学同窓会岡山県支部春季学術研修会 (2023/4/23)
  - ①歯髄保護、コンポジットレジジン充填 最近の動向
  - ②歯科臨床への東洋医学的アプローチ
- 2) 市村 葉：明海大学同窓会群馬県支部学術講演会 (2024/3/16)  
歯科臨床における東洋医学的アプローチ



## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 加藤邑佳:人生 100 歳時代に対応したレーザーを用いた新たな Vital Pulp Therapy の開発. 若手研究(B) 2024 年 4 月 - 2027 年 3 月
- 2) 横瀬敏志, 加藤邑佳: エピジェネティクスを応用した歯髄組織再生療法での歯科用レーザーの効果を探る. 基盤研究(C) 2022 年 4 月 - 2025 年 3 月

### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 加藤邑佳, 横瀬敏志: オルガノイド培養システムとレーザー照射を用いた新しい歯髄保存治療法の開発. 公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団 2023 年 12 月 - 2024 年 12 月

# オーラル・リハビリテーション学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 元村洋一、竹谷佳将、金谷莉紗子、塩田幸一郎、上田隼也、兒玉治樹、大塚秀春、石井麻紀子、鈴木玲爾、林 丈一朗、申 基喆、歯肉剥離搔爬術後の口腔関連 QOL と疼痛の評価,"明海歯科医学会誌,第 5 2 卷,第 2 号,86-95",2023,9
- 2) Fuyoko TAIRA, Yoshihiro KAWABE, Kenichi MIZOBE, Arata NAGASAKA, Yasuhiko BANDO, Hide SAKASHITA, Koji SAKIYAMA, Nobuharu YAMAMOTO, Hideaki SAKASHITA and Osamu AMANO ,Myoepithelial Cells in the von Ebner's Glands of Rats,"明海歯学 (J Meikai Dent Med ) 52 (1) ,63-74,2023",2023,10

### 3. 症例報告

- 1) 杉山雄一郎, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,デジタルスマイルデザインを応用し前歯部審美修復を行った 1 症例,日顎咬合会誌, 43, 30-39, 2023,2023,9
- 2) 杉山雄一郎, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,上顎前歯部に抜歯即時埋入を行った 1 症例,"日本顎咬学会誌,43(1),30-39,2023",2023,10

## C. その他の刊行物など

- 1) 松田 哲,超高速 仮歯作製テクニック,医療情報研究所, DVD およびオンデマンド,2023,5
- 2) 鈴木玲爾,既存骨 3~5mm の上顎臼歯部に対するインプラント治療 概論 一上顎洞底挙上術の現在地-, "クインテッセンス・デンタル・インプラントロジー,2023 Volume30 No.4 p22-25",2023,7
- 3) 鈴木玲爾,既存骨 3~5mm の上顎臼歯部に対するインプラント治療 各論 一両アプローチを習得した上で患者に優しい術式を選択-, "クインテッセンス・デンタル・インプラントロジー,2023 Volume30 No.4 p66-70",2023,7

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 松本篤樹, 江田義和, 重田浩貴, 長沢悠子, 鈴木玲爾, 中畠 裕, 日比野 靖,CAD/CAM 用義歯床用アクリルレジン の表面粗さが常温重合レジンとの接着強さに及ぼす影響,第 81 回日本歯科理工学会学術講演会. 東京,2023,4
- 2) 長沢悠子, 江田義和, 松本篤樹, 重田浩貴, 尾松 純, 栗田 智, 中畠 裕, 日比野 靖,HEMA フリー2 ステップ接着材へのエアブローが接着強さに及ぼす影響,第 81 回日本歯科理工学会学術講演会. 東京,2023,4

- 3) 金城朝尚, 飯塚奈々, 小澤万純, 松田 哲,X線を用いたインターナルインプラント印象時の誤差に関する検討,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 4) 小澤万純, 河方知裕, 近藤千尋, 松田 哲,外傷による歯牙欠損症例に包括的治療を行った一症例,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 5) 堀内康志, 齋藤大嵩, 金城朝尚, 松田 哲,重度糖尿病患者に全額的な歯周外科処置を行なった一症例,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 6) 飯塚奈々, 小澤万純, 近藤千尋, 松田 哲,上顎前歯部抜歯即時埋入および結合組織移植を行なった一症例,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 7) 齋藤大嵩, 河方知裕, 金城朝尚, 松田 哲,上顎両側中切歯にインプラント治療を行なった一症例,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 8) 河方知裕, 齋藤大嵩, 堀内康志, 松田 哲,前歯部の補綴処置に院内 CAD/CAM システムを使用した一症例,日本顎咬合学会,第41回学術大会・総会,東京,2023,6
- 9) 町谷亜位子, 柏 英希, 高野安紀子, 吉川正芳, 松田 哲,口腔内スキャナーを活用した咬合接触評価と咬合力の関係,"日本成人矯正歯科学会第30回記念大会,東京",2023,6
- 10) 町谷亜位子, 柏 英希, 元村洋一, 高野安紀子, 吉川正芳, 松田 哲,3次元画像解析を活用した新しい咬合評価法の探索-光学咬合採得精度向上への試み-, "日本 3Dプリンティング矯正歯科学会 第3回学術大会,東京",2023,7
- 11) 町谷亜位子, 柏 英希, 元村洋一, 高野安紀子, 吉川正芳, 松田 哲,中等度/重度不正咬合患者におけるマウスピース型矯正装置のアウトカム評価と症例特性の解明,"日本 3Dプリンティング矯正歯科学会 第2回学術大会,東京",2023,7
- 12) 杉山雄一郎, 竹ノ谷 淳, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,外傷歯に対してルートメンブレンテクニックを応用してインプラント補綴を行った一症例,ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023,東京,2023,7
- 13) 浅見健介, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,上顎犬歯部に対してルートメンブレンテクニックを用いて抜歯即時インプラント治療を行なった1症例,ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023,東京,2023,7
- 14) 鈴木惇也, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,上顎側切歯に対してルートメンブレンテクニックを応用して抜歯即時埋入-即時修復を行った1症例,ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023,東京,2023,7
- 15) 吉田健人, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,上顎両側中切歯に対して歯科用インプラントを用いて抜歯後即時埋入し即時修復をおこなった一症例,ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023,東京,2023,7
- 16) 慶田喜成, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾,抜歯即時埋入 - 即時修復により上顎前歯部審美修復を行った 1 症例,ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023,東京,2023,7

- 17) 玉置佳嵩, 松本篤樹, 溝部健一, 鈴木玲爾, 上顎前歯部に GBR 法を併用しインプラント治療を行なった 1 症例, ICOI 国際口腔インプラント学会日本支部学術大会 2023, 東京, 2023, 7
- 18) 竹ノ谷 淳, 溝部健一, 鈴木玲爾, 申 基喆, 広汎型慢性歯周炎ステージⅢグレード B 患者に歯周外科治療を行った一症例, 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会 2023, 東京, 2023, 7

E. その他の研究会、講演など

- 1) 鈴木玲爾, Internationa Congress of Oral Implantologists(ICOI) 日本支部学術大会 2023, 大会長, "Internationa Congress of Oral Implantologists(ICOI) 日本支部, 東京", 2023, 7
- 2) 松田 哲, インプラントのための縫合論, インプラント再建歯学研究会, 2023, 5
- 3) 嶋田 淳, 龍田恒康, 鈴木玲爾(ICOI Fellowship コースコーディネーター), インプラントベーシックセミナー 10 日間コース 講師, 明海大学生涯研修セミナー PDI 浦安診療所, 2023, 6
- 4) 松田 哲, チャレンジ 歯周外科・インプラント①インストゥルメント, WHITE CROSS . 東京. オンデマンド, 2023, 5
- 5) 松田 哲, チャレンジ 歯周外科・インプラント②切開・剥離・縫合, WHITE CROSS . 東京. オンデマンド, 2023, 5
- 6) 松田 哲, チャレンジ 歯周外科・インプラント③セルフトレーニングと実践, WHITE CROSS . 東京. オンデマンド, 2023, 5
- 7) 松田 哲, 支台歯形成と TeC, WMM, 東京, 2023, 4
- 8) 有賀正治, 川添祐亮, 鈴木玲爾, 町田次郎, 荒井達哉, 即時荷重研究会ベーシックハンズオンセミナー前期 (第 9 期), 即時荷重研究会主催、東京, 2023, 6
- 9) 有賀正治, 川添祐亮, 鈴木玲爾, 町田次郎, 荒井達哉, 即時荷重研究会ベーシックハンズオンセミナー後期 (第 9 期), 即時荷重研究会主催、東京, 2023, 7
- 10) 中村雅之, 鈴木玲爾, 新井達哉, 包括歯科診療を成功に導くバイオメカニクス前期 (第 4 期), 歯科セミナードットコム主催、東京, 2023, 5
- 11) 中村雅之, 鈴木玲爾, 新井達哉, 包括歯科診療を成功に導くバイオメカニクス後期 (第 4 期), 歯科セミナードットコム主催、東京, 2023, 7

# 摂食嚥下リハビリテーション学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 進藤彩花, 草野 緑, 岡澤仁志, 上田智也, 矢尾喜三郎, 内野隆生, 岡庭 玲, 大岡貴史: 特別養護老人ホームにおける施設職員への口腔衛生管理指導の頻度による口腔環境の改善についての定量分析, 障害者歯科, 第44巻第3号, 234-242, 2023

### 2. 総説

- 1) 大岡貴史: 病診連携で進める新たな食支援の道. 埼玉歯だより, 587, 17-19, 2023

### 3. 症例報告

- 1) 大岡貴史, 山口さやか, 大塚菜月: Genitopatellar 症候群に伴う摂食嚥下障害の 1, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 第27巻第3号, S288-S288, 2023

### 4. 短報

- 1) 大岡貴史: 食塊形成能評価の精度と食品の量・色・形状との関連, 日本口腔リハビリテーション学会雑誌, 第36巻第1号, 73-74, 2023

## C. その他の刊行物など

- 1) 茂木伸夫, 大岡貴史: ウェルビーイングを口腔から考える "デンタル・ウェルビーイング" の見える化への試み Watters Charles 歯界展望 143(3) 578-584, 2024, 3
- 2) 進藤彩花: 文献紹介, 障害者歯科, 第45巻第1号, 53, 2024, 2
- 3) 大岡貴史: 臨床最前線, 日摂食嚥下リハ会誌, 28, 131, 2023

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) SHINDO Ayaka, KUSANO Midori, OKAZAWA Masashi, UEDA Tomoya, YAO Kisaburou, UCHINO Takao, OKANIWA Rei, OOKA Takafumi: Quantitative analysis of the cleaning effect of the number of oral hygiene management instructions given to facility staff in special nursing homes for the elderly, IAGG-AOR2023, Yokohama, 2023, 6
- 2) OOKA Takafumi, KUSANO Midori, SHNIDO ayaka: Actual condition study on feeding function of low birthweight children. IADR-ANZ, Sydney, 2023, 9

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) 大岡貴史：乳幼児期の摂食機能発達と支援．日本小児口腔外科学会第12回教育講演, 2023, 6
- 2) 大岡貴史：小児の摂食機能発達．日本老年歯科医学会指定研修, 2023, 6
- 3) 大岡貴史：ライフサイクルと咀嚼．咀嚼学会フォローアップセミナー, 2023, 7

### (3) 一般演題

- 1) 岡澤仁志：脳神経難病が疑われる重度構音及び嚥下障害の症例 老年歯科医学会第34回学術大会, 神奈川県, 2023, 6
- 2) 大岡貴史, 山口さやか, 横田英子, 田中章寛, 関口五郎, 壹岐千尋, 森田寛子, 重枝昭広, 下重千恵子, 湯澤伸好, 井上恵司, Mowat-Wilson症候群に伴う摂食機能障害を呈した1例, 第40回日本障害者歯科学会総会及び学術大会, 札幌, 2023, 10
- 3) 大西智之, 船津敬弘, 大岡貴史, 岡田芳幸, 嘉手納未季, 川合宏仁, 関野仁, 中村全宏, 弘中祥司, 小笠原正：ダウン症者の歯科受診行動と歯磨き習慣に影響を与える要因 保護者アンケートから, 第40回日本障害者歯科学会総会及び学術大会, 札幌, 2023, 10
- 4) 進藤彩花, 岡澤仁志, 大岡貴史:経口摂取がすすんだ13トリソミー児への摂食嚥下リハビリテーションの1例, 第40回日本障害者歯科学会総会及び学術大会, 札幌, 2023, 10
- 5) 大岡貴史：摂食嚥下リハビリテーション学を中心とした歯科医療従事者養成コースの活動報告．日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集 34回 Page 摂食更新 P-5, 2023, 6
- 6) 大岡貴史：出生状況と摂食機能獲得との関連の後方視的検討, 第61回日本小児歯科学会学術大会, 長崎, 2023, 5

## E. その他の研究会, 講演など

- 1) 大岡貴史：摂食嚥下障害と栄養．埼玉県歯科衛生士会令和5年度第2回第5次生涯研修会．埼玉, 2023, 5
- 2) 大岡貴史：高齢者の心身の特徴・口腔機能管理．令和5年度 か強診・保険診療講習会．埼玉, 2023, 6
- 3) 大岡貴史：子どもの口腔・咀嚼を通しての健康と発達．北区保育施設合同講演会．東京, 2023, 7
- 4) 大岡貴史：子どもたちの“食べる力”のキホン～口腔機能発達不全症とは～．令和5年度摂食嚥下機能支援研修会．東京, 2023, 7
- 5) 大岡貴史：特別支援学校における摂食指導．令和5年度東京都特別支援学校給食研究協議会, 東京, 2023, 7

- 6) 大岡貴史：お口から守る市民の健康 特別支援学校・学級における摂食嚥下機能療法。令和5年市川市歯科医師会市民公開講座。千葉，2023，7
- 7) 大岡貴史：歯科臨床医に必要な摂食・嚥下の知見について。明海大学歯学部北陸ブロック大会開催研修会。富山，2023，8
- 8) 大岡貴史：障害のある子どもに対する摂食嚥下機能療法～学校で気をつけたいポイント～。東京都立心身障害者口腔保健センター学校教職員等研修会。2023，8
- 9) 大岡貴史：症例を通して考える子どもの食べる力の育て方。多摩立川保健所乳幼児期摂食嚥下機能支援研修会，東京，2023，9
- 10) 大岡貴史：子どもの窒息や誤嚥を防ぐ！～安全に食べるための工夫や知識を身に付けよう～。令和5年度摂食嚥下機能支援研修会（幼児期）。東京，2023，9
- 11) 大岡貴史：健康長寿はお口から！今日からできるお口の老化予防。静岡市オーラルフレイル講演会。静岡，2023，10
- 12) 大岡貴史：地域における摂食嚥下障害の評価と多職種による支援。東京都南部医療圏研修会。東京，2023，10
- 13) 大岡貴史：覚えておきたい栄養の話と摂食嚥下。令和5年度障害者のための医療・介護スタッフによる食支援の基礎研究会。埼玉，2023，10
- 14) 大岡貴史：在宅往診や診療室の診療時に注意すべき嚥下のポイント。川越市歯科医師会研修会。埼玉，2023，11
- 15) 大岡貴史：障害者の摂食嚥下障害。静岡済生会療育センター摂食嚥下研修会。静岡，2024，1
- 16) 大岡貴史：歯科臨床で役立つ口腔機能とその評価法。山梨県歯科医師会オーラルフレイル予防スキルアップ研修会。山梨，2024，1
- 17) 大岡貴史：認知症入院患者の摂食嚥下リハビリテーション。埼玉病院歯科連絡協議会。2024，2
- 18) 大岡貴史：知的障がい者の食べるを支援する。埼玉県摂食嚥下研究会基調講演。埼玉，2024，1
- 19) 岡澤仁志，大岡貴史，全身のフレイルは口から始まる，広報ときがわ2，2，2023，2
- 20) 岡澤仁志，大岡貴史，体の不調はフレイルの始まりかも？広報ときがわ12，2023，1

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 大岡貴史（主任研究者）：科研費基盤 C. VR 技術を応用した窒息予防プログラムの構築と食事動作の改善効果（22K10345）
- 2) 大岡貴史（分担研究者，主任研究者：野嶋琢也）：科研費基盤 B. ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連（23K24885）

3. 宮田研究奨励金 (A)

岡澤仁志：食塊形成能の評価結果と検査食品の色・形態との関連性 2023,6



# 病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

# 病理学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 伊藤由美, 坂本真一: 扁平苔癬. In: 病理と臨床 臨時増刊号 病理診断 クイックリファレンス 2023, 文光堂, 東京, pp40, 2023
- 2) 伊藤由美, 菊池建太郎: 疣贅癌. In: 病理と臨床 臨時増刊号 病理診断 クイックリファレンス 2023, 文光堂, 東京, pp41, 2023
- 3) 伊藤由美, 西村学子: 歯根嚢胞. In: 病理と臨床 臨時増刊号 病理診断 クイックリファレンス 2023, 文光堂, 東京, pp42, 2023
- 4) 伊藤由美, 菊池建太郎: 含歯性嚢胞. In: 病理と臨床 臨時増刊号 病理診断 クイックリファレンス 2023, 文光堂, 東京, pp43, 2023

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Sakamoto S, Nagasaki A, Shrestha M, Shintani T, Watanabe A, Furusho H, Chayama K, Takata T, Miyauchi M: Porphyromonas gingivalis-odontogenic infection is the potential risk for progression of nonalcoholic steatohepatitis-related neoplastic nodule formation. Scientific Reports **13**, 9350, 2023

### 2. 総説

- 1) Ide F, Sakamoto S, Miyazaki Y, Nishimura M, Muramatsu T, Kikuchi K: Revisiting the History of Odontoma, with Special Reference to Its Original Illustration. Head Neck Pathol **17**, 976-983, 2023
- 2) Ide F, Sakamoto S, Miyazaki Y, Nishimura M, Ito Y, Muramatsu T, Kikuchi K: Warthin Tumor of the Parotid Gland: The History of an Eponym. Head Neck Pathol **17**, 775-781, 2023
- 3) Ide F, Sakamoto S, Nishimura M, Miyazaki Y, Kikuchi K: Historical Notes on Ossifying Fibroma of the Mandible. Head Neck Pathol **17**, 1021-1025, 2023

### 3. 症例報告

- 1) Sakamoto S, Ide F, Hoshino M, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K: A new insight into the histogenesis and morphogenesis of Warthin tumor: significance of intranodal excretory duct inclusion. Histopathology **82**, 789-791, 2023
- 2) Sakamoto S, Ando T, Mizuta K, Ono S, Konishi M, Miyauchi M, Ogawa I: Ghost cell odontogenic carcinoma arising in dentinogenic ghost cell tumor, peripheral: A case report. Pathol Int **73**, 367-372, 2023

- 3) Sakamoto S, Ide F, Hoshino M, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K: Lymphoepithelial cysts of the parotid gland may be an alternative histogenetic pathway of Warthin tumor. *Pathol Int* **73**, 570-573, 2023
- 4) 濱田充子, 小泉浩一, 檜垣美蕾, 大林史誠, 坂本真一, 虎谷茂昭: 歯内歯様の奇形を呈する埋伏過剰歯由来と考えられる含歯性嚢胞の 1 例, *日本口腔外科学会雑誌* **69**, 337-340, 2023

#### C. その他の刊行物など

- 1) 坂本真一, 高田 隆, 宮内睦美, 脂肪性肝がん発生 歯周病菌と関係, "*日本歯科新聞*, 2023 年 7 月 4 日第 2256 号", 2023, 7

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 坂本真一, 宮内睦美, 安藤俊範, 西村学子, 菊池建太郎, 中黒匡人, 長尾俊孝, 小川郁子: シンポジウム 16 唾液腺腫瘍 update 粘表皮癌とその亜型, 第 64 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 名古屋, 2023, 6

##### (3) 一般演題

- 1) Ito Y, sakamoto S, Miyazaki Y, Nishimura M, Miyauchi M, Kikuchi K: A Case of primary intraosseous carcinoma with squamous odontogenic tumor-like features., 第 112 回日本病理学会総会, 下関, 2023, 4
- 2) 伊藤由美, 坂本真一, 西村学子, 菊池建太郎, 立石陽子, 林 宏行: アミロイドを欠く非石灰化・富ランゲルハンス細胞型の石灰化上皮性歯原性腫瘍, 第 113 回日本病理学会総会, 名古屋, 2024, 3
- 3) 西村学子, 坂本真一, 星野 都, 宮崎裕司, 山本淳一郎, 坂下英明, 草間 薫, 菊池建太郎: ヒアルロン酸注入により多彩な組織像を呈した好酸球性反応を伴う異物肉芽腫の 1 例, 第 34 回 日本臨床口腔病理学会 総会・学術大会, 大阪, 2023, 8
- 4) 春山実紀, 金田朋久, 岡本賢幸, 奥山文子, 坂本真一, 星野 都, 西村学子, 宮崎裕司, 山本信治, 菊池建太郎: 口腔扁平苔癬における Epstein-Barr virus (EBV) の関与, 第 113 回日本病理学会総会, 名古屋, 2024, 3
- 5) 伊藤由美, 坂本真一, 西村学子, 菊池建太郎, 濱田良樹: 腺性歯原性嚢胞とエナメル上皮腫のハイブリッド病変, 第 34 回 日本臨床口腔病理学会 総会・学術大会, 大阪, 2023, 8

# 薬理学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Sato H. \*, Satoh K., Nozaki K., Yugawa M., Kato T., Toyoda H., Katagiri A., Suda N., Adachi K., Reduced menthol sensitivity in a prodromal Parkinson's disease model induced by intranasal rotenone treatment., *Frontiers in cellular neuroscience*, 18: 1-10, 2024
- 2) Katagiri A., Yamada M., Sato H., Toyoda H., Niwa H., Kato T. Long-lasting adverse effects of short-term stress during the suckling–mastication transition period on masticatory function and intraoral sensation in rats., *Odontology*, 112: 906-916, 2023
- 3) Kawaguchi K. \*, Yokoyama S., Wang H., Asano S., Inhibition of ezrin phosphorylation by NSC305787 attenuates procaterol-stimulated ciliary beating in airway cilia., *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 703: 149685, 2024
- 4) Nakahari T, Suzuki C, Kawaguchi K, Hosogi S, Tanaka S, Asano S, Inui T, Marunaka Y., Ambroxol-Enhanced Frequency and Amplitude of Beating Cilia Controlled by a Voltage-Gated  $Ca^{2+}$  Channel, Cav1.2, via  $pH_i$  Increase and  $[Cl^-]_i$  Decrease in the Lung Airway Epithelial Cells of Mice., *International Journal of Molecular Sciences*, 24: 16976, 2023
- 5) Nishie T, Ohta Y, Shirai E, Higaki S, Shimosawa N, Narita K, Kawaguchi K, Tanaka H, Mori C, Tanaka T, Hirabayashi M, Suemori H, Kurisaki A, Tooyama I, Asano S, Takeda S, Takada T., Identification of TEKTIN1-expressing multiciliated cells during spontaneous differentiation of non-human primate embryonic stem cells., *Genes to Cells*, 28: 516-525, 2023

### 2. 総説

- 1) Tominami K., Kudo T., Noguchi T., Hayashi Y., Luo YR., Tanaka T., Matsushita A., Izumi S., Sato H., Gengyo-Ando K., Matsuzawa A., Hong G., Nakai J., Physical Stimulation Methods Developed for In Vitro Neuronal Differentiation Studies of PC12 Cells: A Comprehensive Review., *International Journal of Molecular Sciences*, 25(2): 772-772, 2024

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 遅発性パーキンソン病モデルマウスにおける口腔内メントール感受性の低下, 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 野崎一徳, 湯川未郷, 加藤隆史, 豊田博紀, 片桐綾乃, 安達 一典. 第 65 回歯科基礎医学会

- 2) 遅発性パーキンソン病モデルマウスにおける忌避行動減弱への中枢の関与,  
鈴木崇太, 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 安達一典. 第 14 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会
- 3) 遅発性パーキンソン病モデルマウスにおけるメントール感受性の低下に対する TRPA1 の関与. 上出耕太郎, 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 安達一典. 第 14 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会
- 4) 遅発性パーキンソン病モデルマウスにおけるメントール感受性の低下に対する TRPA1 の関与. 上出耕太郎, 佐藤 元, 佐藤慶太郎, 安達一典. 第 14 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会
- 5) 細胞質ダイニン阻害剤の線毛運動阻害効果の検討. 川口高德, 廣澤孝駿, 守本 栞, 平尾拓也, 安岡加紗音, 中張隆司, 浅野真司. 第 101 回日本生理学会大会
- 6) 多線毛細胞での細胞質 Dynein 阻害剤の線毛運動阻害効果の検討. 川口高德, 守本 栞, Zhao Boshi, 浅野真司. 第 44 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
- 7) 多線毛細胞における細胞質 Dynein 阻害剤の線毛運動への検討. 川口高德, 守本 栞, Zhao Boshi, 廣澤孝駿, 浅野真司. 第 96 回日本生化学会
- 8) 多線毛細胞における細胞質 Dynein 阻害剤の線毛運動への効果の検討. 川口高德. 第 65 回歯科基礎医学会

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究 (C), 遅発性パーキンソン病モデル動物から味覚-冷感覚機能関連解明のアプローチ, 代表研究
- 2) 基盤研究 (C), 中枢性嗅覚障害における嗅球ドパミン神経細胞死と匂い嗅ぎ呼吸調節の因果関係, 分担研究
- 3) 基盤研究 (C), 代謝拮抗剤 S-1 投与における味覚障害、とくに錯味症の発現に関する研究, 分担研究
- 4) 若手研究, 粘液線毛クリアランスにおける細胞骨格関連タンパク質の研究, 代表研究
- 5) 基盤研究 (C), 脳機能の改善を目指した脳室上衣線毛運動の活性化物質の探索と調節機構の解明, 分担研究

### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 三島海運記念財団学術研究奨励金, 遅発性パーキンソン病モデルマウスに発症した味覚障害に対する一次感覚神経の関与, 代表研究

# 総合臨床歯科学

## B. 学術論文

### 1. 原著論文

- 1) 川田朗史、松村華穂、菱川暁弘、尾島健斗、井上瑛弘、三木朱里、香村亜希子、村上幸生、長谷川彰彦、鈴木正二：明海大学病院口腔診断科における過去3年間の初診患者動向に及ぼした COVID-19 パンデミックの影響。日口診誌、36 巻、115-120、2023 年 6 月
- 2) 村上幸生、川田朗史、松村華穂、菱川暁弘、若島 満、松見秀之、鈴木正二：最近2年間の明海大学病院単独型歯科医師臨床研修指導体制強化に及ぼす客員臨床教員招聘の効果。明海歯学、53 巻、1-6、2024 年 2 月

## C. その他の刊行物など

- 1) 尾島健斗：右上奥歯の違和感が消えない，アポロニア 21, 2023 年, 4 月

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 松村華穂 小澤昂太 尾島健斗 菱川暁弘 井上瑛弘 三木朱里 渡辺裕美 松村正晃 川田朗史 村上幸生 鈴木正二, 口唇炎を契機に発見された Sjögren 症候群の 1 例, 第 36 回日本口腔診断学会、宇都宮、2023 年 10 月
- 2) 菱川暁弘、川田朗史、松村華穂、若島 満、松見秀之、鈴木正二、村上幸生：過去2年間の明海大学病院単独型歯科医師臨床研修指導体制強化に及ぼす客員臨床教員招聘の効果と展望。第 36 回日本口腔診断学会、宇都宮、2023 年 10 月

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 村上幸生、川田朗史、松村華穂：第 15 回埼玉県歯科医師会 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会、さいたま市 THE MARK GRAND HOTEL、2023 年 11 月

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 村上幸生：抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化調節機構を探る。令和 5 年度日本学術振興会科学研究費助成金 基盤研究(C)

## 歯科放射線学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 鬼頭慎司, 大高祐聖, 酒井(井澤)真希:  
4 歯周疾患. In: 歯科放射線学. 岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎, 勝又明敏,  
林 孝文編, 第7版, 医歯薬出版, 東京, pp258-260, 2024, 3
- 2) 大高祐聖: コラム⑩ 最近の歯科診療における放射線管理—日本歯科放射線学会ガイドラインの改訂について—. In: 医療領域の放射線管理マニュアル: Q&A・医療関係法令改訂. 医療放射線防護連絡協議会編, 第版, 鍬谷書店, 東京, pp153-154, 2023, 9

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Yusei Otaka, Yasuo Harata, Maki Izawa, Noriyoshi Shiba, Atsushi Iwawaki, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Nobutoshi Takahashi, Hideki Saka and Shinji Kito : Comparison of Operator Exposure Dose in Portable Intraoral X-ray Devices and Dose Management. *Romanian Journal of Legal Medicine* **31**, 138-144, 2023, 6
- 2) Maki Izawa, Yusei Otaka, Hiroshi Sakagami, Sei-ichi Tanuma, Shigeru Amano, Shin Uota, Megumi Inomata, Yuka Kato, Hiroshi Kadokura, Satoshi Yokose, Katsuyoshi Sunaga, Yukari Koga-Ogawa, Giichirou Nakaya, and Shinji Kito : Comprehensive Study of Anti-UVC Activity and Cytotoxicity of Hot-water Soluble Herb Extracts. *in vivo* **37**, 1540-1551, 2023, 5
- 3) Maki Izawa, Yusei Otaka, Noriyoshi Shiba, Kazuyoshi Inui, Nobutoshi Takahashi and Shinji Kito : Dose Evaluation for New Dental CBCT at Meikai University Hospital: Comparison with a Former Dental CBCT and the Japan DRLs 2020. *J Meikai Den Med*, **53**(1), 7-14, 2024, 2
- 4) Atsuharu Nitanda, Atsushi Iwawaki, Yusei Otaka, Yuichi Tamatsu, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Yuko Otomo, Shinji Kito and Hideki Saka : Fundamental research for dose control during supine dental panoramic radiography, *Journal of Oral Biosciences* **65**(4), 365-370, 2023, 9
- 5) Yusei Otaka, Yasuo Harata, Maki Izawa, Noriyoshi Shiba, Atsushi Iwawaki, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Nobutoshi Takahashi, Hideki Saka and Shinji Kito : Stray Radiation Dose Reduction Using a Backscatter Shield and a Rectangular Collimator for a Handheld Intraoral X-ray Unit. *Radiation Protection Dosimetry* **199**(19), 2349-2355, 2023, 11 doi: 10.1093/rpd/ncad239.

- 6) Atsuharu Nitanda, Atsushi Iwawaki, Yusei Otaka, Yuichi Tamatsu, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Yuko Otomo, Shinji Kito and Hideki Saka : Fundamental Research for Dose Control During Supine Dental Panoramic Radiography. *J Oral Biosci* **65**(4), 365-370, 2023, 12 doi: 10.1016/j.job.2023.09.003.
- 7) Yusei Otaka, Maki Izawa, Hiroshi Sakagami, Noriyoshi Shiba, Nobutoshi Takahashi, Sei-Ichi Tanuma, Shigeru Amano, Shin Uota, Megumi Inomata, Satoshi Yokose, Katsuyoshi Sunaga, Shinichiro Hayashi, Yukari Koga-Ogawa, Giichirou Nakaya and Shinji Kito : UVC-Protective Activity of Lemongrass Among 12 Fat-soluble Herbal Extracts: Rapid Decay Due to Cytotoxicity. *In Vivo* **37**(6), 2464-2472, 2023, 11 doi: 10.21873/invivo.13353.

## 2. 総説

- 1) 坂上 宏, 魚田 慎, 天野 滋, 田沼靖一, 猪俣 恵, 大高祐聖, 井澤真希, 鬼頭慎司, 須永克佳, 鈴木龍一郎, 小川由香里, 上田大輔, 延澤忠真, 中谷儀一郎 : 3 大学連携プロジェクト: コロナ禍における安全で持続性のある UVC 保護物質の探索. *New Food Industry* **65**(12), 705-712, 2023, 11

## C. その他の刊行物など

- 1) 浅海利恵子, 井澤真希, 大高祐聖, 大林尚人, 小田昌史, 河合泰輔, 鬼頭慎司, 小嶋郁穂, 後藤賢一, 小林育夫, 坂本彩香, 櫻井 孝, 佐藤健児, 杉原義人, 竹下洋平, 西川慶一, 野津雅和, 原田康雄, 松本邦史, 三島 章 : 日本歯科放射線学会ガイドライン 携帯型口内法 X 線装置による手持ち撮影のためのガイドライン 2023 年改訂版. 日本歯科放射線学会, 2023, 4

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 岩脇淳志, 石井 猛, 落合朗大, 高橋伸年, 坂 英樹, 鬼頭慎司 : 従来の携帯型口内法 X 線装置における迷放射線分布について. 日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023, 5
- 2) 井澤真希, 大高祐聖, 坂上 宏, 芝 規良, 高橋伸年, 鬼頭慎司 : 108 種の水溶性ハーブ抽出物の抗 UVC 活性に関する調査. 日本歯科放射線学会第 63 回学術大会, 福岡, 2023, 5
- 3) 芝 規良 : 仮想顔貌 3D モデル構築における基礎研究. 明海歯学会, 2023, 7



- 4) 大高祐聖, 杉原義人, 三島 章, 西川慶一, 井澤真希, 芝 規良, 高橋伸年, 原田康雄, 鬼頭慎司, 河合泰輔: 携帯型口内法 X 線装置による手持ち撮影のためのガイドライン (2023 年改訂版) に関する報告. 日本歯科放射線学会第 4 回秋季学術大会, 大阪, 2023, 11
- 5) 坂上 宏, 田沼靖一, 天野 滋, 魚田 慎, 猪俣 恵, 大高祐聖, 井澤真希, 鬼頭慎司, 横瀬敏志: 新規クロモン誘導体のヒト口腔扁平上皮癌細胞傷害効果を増強させる因子の探索. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023, 9
- 6) 石井 猛, 網干博文, 岩脇淳志, 落合朗大, 大友有子, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹: 日本人成人における下顎骨のエックス線計測値を用いた年齢推定法の検討. 日本法歯科医学会第 17 回学術大会, 東京, 2023, 5

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 落合朗大, 岩脇淳志, 石井 猛, 小澤昂大, 大友有子, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹: 頭頸部CT画像による椎体を用いた性別判定, 年齢推定の検討. 第92回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2023, 10

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 大高祐聖 (研究代表者): 御遺体の安置場所は術者被曝線量に影響を与えるか? — 数理モデルの構築を目指して —. 基礎基盤 C. 23K09487
- 2) 井澤真希 (研究代表者): 小児における歯科用 CBCT 被ばく線量低減にむけた検討 — 安全で有益な検査を目指す —. 若手研究 B. 22K17190

## 口腔顎顔面外科学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Ari Matsumoto, Kazumasa Mori, Miki Hiroi, Nobuharu Yamamoto and Yoshihiro Ohmori : Differential Anti-Tumor Effects of IFN-Inducible Chemokines CXCL9, CXCL10, and CXCL11 on a Mouse Squamous Cell Carcinoma Cell Line. *Med. Sci.* 11, 31, 2023
- 2) Fuyoko T, Yoshihiro K, Kenichi M, Arata N, Yasuhiko B, Hide S, Koji S, Nobuharu Y, Hideaki S, Osamu A : Myoepithelial Cells in the von Ebner's Glands of Rats. *明海歯学雑誌* 52, 63-74, 2023
- 3) Ogasawara Y, Sakiyama K, Shimamura Onozawa G, Nagasaka A, Bando Y, Yamamoto N, Amano O, Sakashita H, Expression of High Mobility Group Box 1 (HMGB2) in Necrosis and Regeneration of Myofibers in Tongue Carcinoma Model Mice. *明海歯科医学* 52, 75-85, 2023
- 4) 塩野隼也, 福田正勝, 小笠原悠大, 田川裕也, 岡本賢幸, 春山実紀, 向井一眞, 林 宏泰, 石川真理, 原 八重子, 山本信治 : 口腔扁平上皮癌における c-Met の役割について-. *明海大学歯学雑誌* 52, 51-62, 2023

#### 3. 症例報告

- 1) 森 一将, 松本安吏, 織田敬子, 内田洋子, 嶋田 淳, 山本信治 : 口腔乾燥症に関連し発生したと考えられた間質性膀胱炎の加療により改善した口腔異常感症の 1 例. *明海歯学* 52, 45-50, 2023

### D. 学会発表

#### (3) 一般演題

- 1) 森 一将, 松本安吏, 織田敬子, 嶋田 淳, 長谷川彰彦, 山本信治 : 間質性膀胱炎に関連した口腔乾燥症により発生したと考えられた口腔異常感症の 1 例. 第 32 回日本有病者歯科医療学会学術大会 長野県 軽井沢プリンスホテル ウェスト 2023
- 2) 森 一将, 織田敬子, 松本安吏, 向井一眞, 嶋田 淳, 山本信治 : 歯学部学生における和漢講義前の和漢に関するアンケート結果についての検討. 第 77 回日本口腔科学会学術大会 岡山県 岡山コンベンションセンター 2023.5.11-13
- 3) 森 一将, 嶋田 淳, 山本信治 : 和漢教育前の歯学部生における和漢に対する意識調査についての検討. 第 42 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 オンデマンド 2023.7.15-16

- 4) 森 一将, 向井一眞, 松本安吏, 嶋田 淳, 山本信治: 口腔カンジダ症に対するミコナゾール付着錠の臨床効果の検討. 第 33 回日本口腔内科学会 4 学会合同学術大会 栃木県 栃木県総合文化センター 2023.9.22-24
- 5) 森 一将, 嶋田 淳, 松本安吏, 織田敬子, 山本信治: 小唾液腺に発生した **Intraductal carcinoma** の 1 例. 第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 大阪府 大阪国際会議場 2023.11.10-12
- 6) 織田敬子, 森 一将, 松本安吏, 嶋田 淳, 山本信治: 舌の口腔異常感症を契機に発見された多発性脳梗塞および脳萎縮の 1 例. 第 77 回日本口腔科学会学術大会 岡山県 岡山コンベンションセンター 2023.5.11-13
- 7) 織田敬子, 森 一将, 神谷美保子, 松本安吏, 嶋田 淳, 山本信治, 認知機能低下に伴う高齢者に発症した重症歯性感染症の 1 例. 第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 新潟, 2024, 3
- 8) 松本安吏, 森 一将, 織田敬子, 内田洋子, 嶋田 淳, 山本信治: 乾癬加療中に発生した多発性口腔類天疱瘡の 1 例. 第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 大阪府 大阪国際会議場 2023.11.10-12
- 9) 向井一眞, 森 一将, 松本安吏, 園川拓哉, 瀧澤将太, 原 八重子, 重松久夫, 嶋田 淳, 龍田恒康, 山本信治: 当科における口腔カンジダ症の臨床統計学的検討. 第 33 回日本口腔内科学会 4 学会合同学術大会 栃木県 栃木県総合文化センター 2023.9.22-24
- 10) 園川拓哉, 林 宏泰, 原 八重子, 藤本 舞, 佐々木 会, 大塚雄一郎, 大 隆史, 山口浩司, 嶋田 淳, 龍田恒康, 須田直人, 山本信治: 術後の栄養摂取法が患者の回復に及ぼす影響の検討. 日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023, 5
- 11) 林 宏泰, 園川拓哉, 龍田恒康, 原 八重子, 重松久夫, 佐々木 会, 藤本 舞, 山口浩司, 大島隆史, 真野樹子, 大塚雄一郎, 嶋田 淳, 須田直人, 山本信治: 明海大学歯学部附属病院における顎矯正手術の臨床統計学的検討(2015~2021 年), 日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023, 5
- 12) 藤本 舞, 佐々木 会, 大塚雄一郎, 大島隆史, 山口浩司, 林 宏泰, 園川拓哉, 龍田恒康, 山本信治, 須田直人: 上顎骨の片側下方移動と下顎骨下縁部分切除術により顔面非対称の改善を図った **hemifacial microsomia** の 1 例. 日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023, 5

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 森 一将: 口腔がんを見落とさない -口腔粘膜疾患の診かた-. 岡山県 明海大学歯学部同窓会中国ブロック大会・学術講演会 2023.11.11
- 2) 森 一将: 薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) の歯科・口腔外科における対応. 京都府 明海大学歯学部同窓会京都支部 学術講演会・総会 2023.11.26

- 3) 森 一将：診療にお役立ていただきたい口腔潜在的悪性疾患診断のためのポイント。埼玉県 川越市歯科医師会講演会（川越市予防歯科センター） 2024.2.17
- 4) 森 一将：口腔粘膜に暗躍する口腔カンジダ症-抗真菌薬（オラビ錠<sup>®</sup>）の使用症例検討- 久光製薬社内講習会 オンデマンド 2023.4.18
- 5) 渋谷真弓，早川真依子，柴下多美子，山崎美加，森 一将，長谷川彰彦：歯科口腔外科手術における MDRPU の発生状況の検証. 第 68 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 第 19 回歯科・口腔外科看護研究会 大阪府 大阪国際会議場 2023.11.10-12

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 森 一将：口腔癌発症における骨髄由来免疫抑制細胞(MDSC)による腫瘍免疫抑制作用の検討. 科学研究費 基盤研究(C) 23K09318
- 2) 松本安吏：口腔扁平上皮癌におけるケモカイン不活化酵素 DPP-4 による腫瘍免疫の抑制機構の解明. 若手研究 23K16131

# 高齢者歯科学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 田中健大、田村暢章、小林真彦、深井智子、松田玲於奈、竹下 玲、竹島 浩, 自立高齢者における咀嚼関連自己評価と口腔機能低下との関連,"明海歯学 53 (1), 22-29, 2024",2024,2
- 2) 中川美香、田村暢章、小林真彦、深井智子、松田玲於奈、竹下 玲、竹島 浩,"自立高齢者のプレフレイル状態と口腔機能に関する調査—嚥下にかかわる項目を中心に—", "明海歯学 53 (1) , 15-21, 2024",2024,2

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 中川美香, 田村暢章, 小林真彦, 松田玲於奈, 竹島 浩,"自立高齢者のプレフレイル状態と口腔機能に関する調査—嚥下にかかわる項目を中心に—",第33回日本老年歯科医学会総会(横浜),2023,6
- 2) 小林真彦,"唾液成分強化ハムスターの作製と検体試料の網羅的検索",明海歯科医学会第50回学術大会(明海大学歯学部),2023,6
- 3) 井上季咲, 牛尾亮介, 西 貴志子, 園川拓哉, 田村暢章, 龍田恒康, 嶋田 淳,"腸骨移植架橋骨の少ない顎裂部にハイブリッド骨移植を行って同時にインプラントを埋入した症例",第53回日本口腔インプラント学会学術大会(札幌),2023,9
- 4) 別府慶紀, 園川拓哉, 小野澤 豪, 田村暢章, 竹島 浩, 嶋田 淳, 龍田恒康, 星野 都, 山本信治, "小児の下顎骨に発生した線維性骨病変の一例",第68回日本口腔外科学会総会・学術大会(大阪),2023,11

## F. 研究助成金等の受入れ

### 3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 松田玲於奈, 4種の神経細胞から紐解くポリフェノールの生理作用, 宮田研究奨励金(A)

## 歯科麻酔学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Oono Y, Takagi S, Arendt-Nielsen L, Kohase H, Perioperative nerve blockade reduces acute postoperative pain after orthognathic surgery, *Pain Res Manag* . 2023;7306133.,2023,12
- 2) Kono R, Oono Y, Takagi S, Uth XJ, Petersen KK, Arendt-Nielsen L, Kohase H, Preoperatively assessed offset analgesia predicts acute postoperative pain following orthognathic surgery, *Scand J Pain*. doi: 10.1515/sjpain-2023-0003. Epub ahead of print. PMID: 37392129.,2023,7

#### 3. 症例報告

- 1) 高木沙央理、安藤慎之介、森山詩織、南淵翔平、原田達也、大野由夏、小長谷 光, 静脈内鎮静法下歯科治療時にてんかん様発作を生じた認知症高齢患者の一例, *日本障害者歯科学会雑誌*,2023,6
- 2) 大野由夏、高木沙央理、長谷川彰彦、小長谷光, 中等症大動脈弁狭窄症を有する100歳の超高齢者に対する全身麻酔経験, *日本障害者歯科学会雑誌*,2023,6

### C. その他の刊行物など

- 1) 大野由夏, 小長谷 光, 健康成人を対象とした photobiomodulation による内因性疼痛調節機構変調の検討, *光アライアンス*、日本工業出版株式会社,2023,7
- 2) 大野由夏、小長谷 光, 術後痛の高リスク患者を予測する, "シービーアール、臨床麻酔 2023 Vol47, No. 8",2023,9

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Y. Oono, R. Kono, Y. Kiyohara, S. Ando, S. Takagi, H. Nagasaka, L. Arendt-Nielsen, and H. Kohase, Acute pain service with nerve blockade is effective for postoperative pain relief in the orthognathic surgery, "13th Congress of the European Pain Federation EFIC - Pain in Europe XIII, Budapest",2023,9
- 2) Y. Kiyohara, Y. Oono, R. Kono, S. Takagi, H. Nagasaka, L. Arendt-Nielsen, and H. Kohase, "Effects of acetaminophen on conditioned pain modulation, temporal summation of pain, and offset analgesia in healthy volunteers", "13th Congress of the European Pain Federation EFIC - Pain in Europe XIII, Budapest",2023,9

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 大野由夏, 高木沙央理, 井手康雄, 長坂 浩, 三枝 勉, 小長谷 光, 健康成人を対象とした光生物学的活性化反応による内因性疼痛調節機構の検討(会議録), 日本レーザー治療学会誌 21 巻 1 号 Page39. 第 34 回日本レーザー治療学会 総会・学術大会 宇都宮, 2023, 5
- 2) 小長谷 光, 大野由夏, "内因性疼痛調節機構と Conditioned Pain Modulation - レーザーの影響 - Endogenous Pain Modulatory System and Conditioned Pain Modulation - The Effect of Laser -", 日本レーザー治療学会誌 21 巻 1 号 Page26-27. 第 34 回日本レーザー治療学会 総会・学術大会 宇都宮, 2023, 5

### (3) 一般演題

- 1) 河野亮子、安藤慎之介、清原悠貴、林 春花、高木沙央理、大野由夏、小長谷 光, paperChart による JSA 麻酔台帳へのデータ出力と運用, 第 39 回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会 東京, 2023, 6
- 2) 清原悠貴、大野由夏、河野亮子、高木沙央理、長坂 浩、小長谷 光, アセトアミノフェンの dynamic quantitative sensory testing に対する影響, 日本麻酔科学会第 70 回学術集会 神戸, 2023, 5
- 3) 清原悠貴、大野由夏、河野亮子、高木沙央理、長坂 浩、小長谷 光, 顎変形症患者における術後痛と offset analgesia および pain catastrophizing scale の関連, 日本麻酔科学会第 70 回学術集会 神戸, 2023, 5
- 4) 大野由夏、高木沙央理、重松 久夫、小長谷 光, 筋・筋膜性疼痛と診断した三叉神経痛の一例, 第 53 回 日本慢性疼痛学会、足利市, 2024, 2
- 5) 大野由夏、清原悠貴、高木沙央理、小長谷 光, 健康成人におけるアセトアミノフェンによる内因性疼痛調節機構の変調, 第 28 回 (一社) 日本口腔顔面痛学会学術大会、筑紫野市, 2023, 11
- 6) 大野由夏、高木沙央理、小長谷 光, 周術期神経ブロックを併用した Acute Pain Service の有用性, 日本ペインクリニック学会 第 57 回学術集会、佐賀, 2023, 6
- 7) 高木沙央理、大野由夏、小長谷 光, 全身麻酔管理における精神性発汗解析による完全覚醒時期の検討, 日本臨床麻酔学会第 43 回大会、宮崎, 2023, 12
- 8) 安藤慎之介、高木沙央理、原田達也、高橋敏克、大野由夏、前田祐佳、弘中哲夫、石黒 隆、長谷川彰彦、小長谷 光, "低周波特化型圧電振動センサの呼吸特性の解析, 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、長崎, 2023, 10
- 9) 大野由夏、河野亮子、安藤慎之介、清原悠貴、小林克江、牧野兼三、高木沙央理、小長谷 光, 非協力のため手術室にて全身麻酔導入を行い CT 室に移動し安全に CT 撮影を施行しえた一症例, 第 40 回日本障害者歯科学会 総会および学術大会、札幌, 2023, 11

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 河野亮子、安藤慎之介、清原悠貴、林 春花、高木沙央理、大野由夏、小長谷光,paperChartによるJSA麻酔台帳へのデータ出力と運用,第39回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会 東京,2023,6
- 2) 大野由夏,高木沙央理、小長谷 光,パーキンソン病の関連が考えられた口腔顔面痛の一例,日本ペインクリニック学会 第4回北関東・甲信越支部学術集会、下野市,2024,3

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 小長谷 光、斎藤智彦、岩瀬良範、中尾正和、鈴木史人、今村敏克、小林克江、牧野兼三、高木沙央理、大野由夏,paperChart ワークショップ,第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会、長崎,2023,10
- 2) 大野由夏,歯科・口腔外科治療の痛み強度と痛み遷延化の個人差,令和5年慢性疼痛診療のシステム均てん化等事業 「第3回痛みと心のカンファレンス」、web開催,2024,3
- 3) 大野由夏,小長谷 光,"内因性疼痛調節機構と Conditioned Pain Modulation -CPM, TSP, OA は痛覚変調性疼痛の評価法になるか-",第41回 OFP-WEB 勉強会、ウェブ開催,2023,9

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 小長谷 光,口腔顔面痛に対する新しい診断治療のアプローチ—内因性疼痛抑制機能評価の応用—,科学研究費補助金,基盤研究(C),2023,4
- 2) 大野由夏,内因性疼痛調節機能評価を用いた遷延性術後痛発症予測の臨床応用,科学研究費補助金,基盤研究(C),2023,4

##### 3. 宮田研究奨励金(A)

- 高木沙央理,圧電センサを利用した上気道閉塞検出方法の開発,宮田研究奨励金(A) 2023年度



## 歯科法医学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Atsuharu Nitanda, Atsushi Iwawaki, Yusei Otaka, Yuichi Tamatsu, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Yuko Otomo, Shinji Kito, Hideki Saka, Fundamental research for dose control during supine dental panoramic radiography, Journal of Oral Biosciences. 65, 1, 365-370, 2023, 9
- 2) Yusei Otaka, Yasuo Harata, Maki Izawa, Noriyoshi Shiba, Atsushi Iwawaki, Takeru Ishii, Akihiro Ochiai, Nobutoshi Takahashi, Hideki Saka, Shinji Kito, Stray radiation dose reduction using a backscatter shield and a rectangular collimator for a handheld intraoral X-ray unit, Radiat Prot Dosimetry. 199, 1, 2349-2355, 2023, 11

### C. その他の刊行物など

- 1) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau in May 2023, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2023, 6
- 2) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu and Ngedbus Island, Republic of Palau in May 2023 for BCHP, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2023, 6
- 3) Hideki Saka, Forensic anthropological another report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in July 2023, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2023, 8
- 4) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in July 2023 for BCHP, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2023, 8
- 5) Hideki Saka, Forensic anthropological short report of the collection of human skeletal remains from Shinkoku and Kiyosumi-maru, The State of Chuuk FSM October 2023 Ministry of Health, Labour & Welfare Japan Government, 2023, 10
- 6) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains from Shinkoku and Kiyosumi-maru, The State of Chuuk FSM October 2023, Ministry of Health, Labour & Welfare Japan Government, 2023, 11
- 7) Hideki Saka, Forensic anthropological short report of the collection of human skeletal remains at Omekang Island for BCHP, Republic of Palau in July 2022, Japan Association for Recovery and Repatriation of War Casualties, 2023, 12

- 8) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in November to December 2023, Ministry of Health, Labour & Welfare Japan Government, 2024, 1
- 9) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in November to December 2023 for BHP, Ministry of Health, Labour & Welfare Japan Government, 2024, 2
- 10) Atsushi Iwawaki, Forensic anthropological report of human skeletal remains in United States of America (North Dakota, Ohio and Michigan) in March 2024, Ministry of Health, Labour & Welfare Japan Government, 2024, 3

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 石井 猛, 網干博文, 岩脇淳志, 落合朗大, 大友有子, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹, 日本人成人における下顎骨のエックス線計測値を用いた年齢推定法の検討, 日本法歯科医学会第17回学術大会, 東京, 2023, 5

##### 3. 地方会

###### (3) 一般演題

- 1) 二反田淳春, Fundamental research for dose control during supine dental panoramic radiography, 明海歯科医学会第51回学術大会, 坂戸, 2023, 10
- 2) 落合朗大, 頭頸部CT画像による椎体を用いた性別判定, 年齢推定に関する研究, 明海歯科医学会第51回学術大会, 坂戸, 2023, 10
- 3) 落合朗大, 岩脇淳志, 石井 猛, 小澤昂大, 大友有子, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹, 頭頸部CT画像による椎体を用いた性別判定, 年齢推定の検討, 東京, 2023, 10

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, 戦没者遺骨収集事業における歯科法医学的見地からの人種鑑別, 日本大学歯学部特別講義, 東京, 2023, 6
- 2) 岩脇淳志, 災害と歯科～過去の災害からソナエル～, 2023年度埼玉東上地域大学教育プラットフォーム公開講座, 坂戸, 2023, 8
- 3) 岩脇淳志, 災害と歯科～過去の災害からソナエル～, 東松山きらめき市民大学特別講義, 東松山, 2023, 11
- 4) 坂 英樹, 大規模災害における歯科医師の役割, 鹿児島大学大学院医歯学総合研

究科特別講義，鹿児島，2023, 10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 岩脇淳志：大規模災害時における携帯型 X 線発生装置の作業基準の確立，  
学術研究助成基金助成金，若手研究，21K17202

3. 宮田研究奨励金（E）

- 1) 落合朗大，頭頸部 CT 画像による椎体を用いた性別判定、年齢推定に関する研究，  
2023, 4

# 社会健康科学講座

口腔保健予防歯科学分野

スポーツ歯学分野

## 口腔保健予防歯科学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 中川美香、田村暢章、小林真彦、深井智子、松田玲於奈、竹下 玲、竹島 浩、自律高齢者のプレフレイル状態と口腔機能にかかわる調査—嚥下にかかわる項目を中心に—, 明海歯科医学 53 卷, 2024, 2
- 2) 田中健大、田村暢章、小林真彦、深井智子、松田玲於奈、竹下 玲、竹島 浩、自律高齢者における咀嚼関連自己評価と口腔機能低下との関連, 明海歯科医学 53 卷, 2024, 2

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 深井智子, 歯と口の健康教育-健康の未来は口の健康から-, 第 26 回千葉県学校保健学会, 2023, 12

##### (3) 一般演題

- 1) 中林靖雄、竹下 玲、竹内 靖、深井智子、永井明子, 学校歯科保健活動として行った集団フッ化物洗口法の実施効果について, 第 26 回千葉県学校保健学会, 2023, 12

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 竹下 玲, 認知症の現状と介護保険制度・歯科医療, 明海大学歯学部臨床研修オリエンテーション, 2024, 04
- 2) 竹下 玲, 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)と歯科医療; 埼玉県入間市歯科医師会講演 2023・か強診・保険診療講習会, 2023, 05
- 3) 竹下 玲, 元気においしく食べるための口腔ケア; 2023 年度明海大学歯学部新入職員研修会, 2023, 08
- 4) 竹下 玲, いつまでも、自分の力で食事を楽しみ健康で過ごすために; 埼玉県児玉地域包括支援センター主催・介護者教室, 2023, 08
- 5) 竹下 玲, いつまでも、自分の力で食事を楽しみ健康で過ごすために; 埼玉県本庄南地域包括支援センターシャローム主催・介護者教室, 2023, 08
- 6) 竹下 玲, 子供から高齢者まで、みんなでおいしく食べられるための歯のケアを考えましょう; 埼玉県北埼玉歯科医師会「第 35 回 口腔衛生指導講習会」, 2023, 11
- 7) 竹下 玲, CAMBRA 定期管理型予防セミナー What 's CAMBRA 編, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修部 YOSHIDA 特別セミナー, 2023, 11

- 8) 深井智子, 良い歯の教室, ときがわ町保健センター, 2023, 7
- 9) 永井明子, 長野県の公衆衛生に携わって, 公益社団法人長野市歯科医師会, 2023,  
6

## スポーツ歯学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Manka-Malara K, Szerszen M, Gorski B, Tanabe G, Ueno T, Mierzwinska-Nastalska E, Disinfection and isotonic drinks' influence on hardness and color stability of ethylene-vinyl-acetate copolymer mouthguards used in martial arts: An in vitro study, *Polymers*, 15(8), 1822, 2023,4
- 2) Shimizu S, Tanabe G, Hayashi K, Churei H, Anzai T, Takahashi K, Ueno T, Fueki K, Quantitative text analysis of the mechanisms of tooth injury: Analysis of accidents in five sports that occurred in 15 years under school control, *Dent Traumatol*, 39(2), 132-139, 2023,4
- 3) Tanabe G, Mori T, Araki M, Kataoka H, Into T, Role of LL-37 in oral bacterial DNA accumulation in dental plaque, *J Dent Res*, 103(2), 177-186, 2024,2
- 4) Li C, Wada T, Tsuchida Y, Hayashi K, Tanabe G, Ueno T, Churei H, Optimizing additively manufactured mouthguards: assessing multi-layer materials for improved shock absorption and durability compared to conventional samples, *Int J Bioprinting*, 10(3), 2469, 2024,3

#### 2. 総説

- 1) Tanabe G, Ueno T, Li C, Manka-Malara K, Kostrzewa-Janicka J, Togawa K, Hayashi K, Churei H, Gonda T, Suzuki H, Nakajima K, Mizuhashi F, Matsumura H, Maeda Y, Yasui T, Literature review of the advances and applications of digital dentistry in sports mouthguard fabrication, *Int J Sports Dent*, 16(1), 15-24, 2023,12
- 2) Gonda T, Yasui T, Maeda Y, Ishigami K, Ueno T, Matsumoto M, Takamata T, Koide K, Kawara M, Hydration during exercise and its effects on the mouth: a review, *Int J Sports Dent*, 16(1), 26-30, 2023,12

#### 3. 症例報告

- 1) Tanabe G, Cheewin T, Fukutome M, Sumita IY, Wakabayashi N, All-in-one-piece type prosthesis combining an obturator, a facial prosthesis, and glasses for the rehabilitation of midfacial defect and its speech evaluation: A clinical report, *Int J Maxillofac Prosthet*, 6(1), 20-24, 2023,9

### C. その他の刊行物など

- 1) 上野俊明, 中学保健ニュース／歯の外傷について ①中高生に起こりやすい歯の外傷について一脱臼、破折一, 少年写真新聞, 第 1884 号付録, 4-5, 2023,6

- 2) 上野俊明, 高校保健ニュース／歯の外傷について ①中高生に起こりやすい歯の外傷について－脱臼、破折－, 少年写真新聞, 第 789 号付録, 4-5, 2023,6
- 3) 上野俊明, 中学保健ニュース／歯の外傷について ②歯の外傷への対応－初期対応や重篤な症状の判断について－, 少年写真新聞, 第 1888 号付録, 4-5, 2023,8
- 4) 上野俊明, 高校保健ニュース／歯の外傷について ②歯の外傷への対応－初期対応や重篤な症状の判断について－, 少年写真新聞, 第 793 号付録, 4-5, 2023,8
- 5) 上野俊明, 中学保健ニュース／歯の外傷について ③歯の外傷を防ぐために, 少年写真新聞, 第 1891 号付録, 4-5, 2023,9
- 6) 上野俊明, 高校保健ニュース／歯の外傷について ③歯の外傷を防ぐために, 少年写真新聞, 第 796 号付録, 4-5, 2023,9
- 7) 上野俊明, スポーツ中の歯・口のけが事例分析と予防 10 か条, 令和 5 年度学校における体育活動での事故防止対策推進事業成果報告書, 29-37, 2024,3

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Tanabe G, Ueno T, Sports dentistry in Japan and its scientific findings: Can dehydration during exercise be predicted from oral mucosal moisture?, ABROE-2023 International Congress of Sports Dentistry (The Brazilian Academy of Sports Dentistry), Online, 2023,12

##### (3) 一般演題

- 1) Shimizu S, Hayashi K, Takeuchi Y, Kobayashi H, Tanabe G, Churei H, Ueno T, Fueki K, Effect of *P. gingivalis* induced bacteremia on skeletal muscle injury healing in vivo., European College of Sport Science Paris 2023 (ECSS2023). Paris, France, 2023,7
- 2) Hattori M, Pang X, Ahmed SMA, Tanabe G, Ueno T, Obata S, Mori T, Churei H, Nishiyama A, Sumita YI, Wakabayashi N, Prosthodontic rehabilitation of a singer with a cancer-induced maxillary defect, The International Symposium on Performance Science 2023 (ISPS 2023), Warsaw, Poland, 2023,8
- 3) Tanabe G, Obata S, Miyasaka A, Watanabe I, Wada T, Hattori M, Churei H, Nishiyama A, Ueno T, Mori T, Sumita YI, Questionnaire survey on the dental and oral-maxillofacial health of Japanese musicians, The International Symposium on Performance Science 2023 (ISPS 2023), Warsaw, Poland, 2023,8
- 4) Watanabe E, Tanabe G, Aoyama K, Hashimoto S, Morotomi K, Ueno T, Yoshikai Y, Suzuki K, Effect of immune protein intake on salivary s-IgA secretion in athletes -A randomized crossover placebo trial-, 45th ESPEN Congress on Clinical Nutrition and Metabolism, Lyon, France, 2023,9



- 5) Li C, Wada T, Tsuchida Y, Hayashi K, Tanabe G, Ueno T, Churei H, Evaluation of shock absorption in various designed 3D printed samples, 2024 IADR/AADOCR/CADR General Session & Exhibition, New Orleans, LA, USA, 2024,3

## 2. 全国学会

### (2) シンポジウム

- 1) 田邊 元, 上野俊明, 鈴木克彦, 運動と免疫・炎症研究への機能性食品の応用可能性:最近の知見/③免疫プロテイン摂取による対アスリート健康管理アプローチ, 日本体力医学会特別大会ー2023 東京シンポジウムー (日本体力医学会), 東京, 2023,9
- 2) 田邊 元, 竹内康雄, 中禮 宏, 上野俊明, 口腔科学×スポーツ科学, 第4回早稲田大学ヒューマンパフォーマンス研究所シンポジウム (早稲田大学総合研究機構), 東京, 2023,5

### (3) 一般演題

- 1) 田邊 元, 小幡哲史, 宮坂厚弘, 渡辺一騎, 服部麻里子, 中禮 宏, 西山 暁, 上野俊明, 森 隆志, 隅田由香, 楽器演奏と歯科口腔科学の接点を探るー産学連携による楽器演奏者への大規模アンケート調査結果 第1報, 第2回日本演奏芸術医学研究会, 東京, 2023,7
- 2) 宮坂厚弘, 田邊 元, 服部麻里子, 全部床義歯作製・装着後に義歯使用方法について楽器演奏を考慮したアドバイスを行った症例, 第2回日本演奏芸術医学研究会 東京, 2023,7
- 3) 田邊 元, 森 大気, 荒木美穂, 片岡嗣雄, 引頭毅, 抗菌ペプチド LL-37 は歯垢中に口腔内細菌DNAを堆積させる, 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 日本大学, 2023,9
- 4) 森 大気, 片岡嗣雄, 田邊 元, 引頭毅, カンジダリシンの生理活性における NLRP3 インフラマソーム経路の関与について, 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 日本大学, 2023,9
- 5) 清水慎太郎, 田邊 元, 安齋達彦, 外川海斗, 林 海里, 中禮 宏, 高橋邦彦, 上野俊明, 学校スポーツ事故事例のテキストマイニング手法を用いたコレスポンド分析ー歯牙障害発生の学校種別・性別の傾向ー, 第24回日本安全教育学会, 奈良, 2023,9
- 6) 外川海斗, 中禮 宏, 林 海里, 高橋優美, 清水慎太郎, 堀田葉子, 原 貴久, 立石智彦, 柳下知慶, 田邊 元, 上野俊明, カスタムメイドフェイスガード使用により競技生活を継続できているプロフットサル選手の一例, 第34回日本臨床スポーツ医学会 学術大会, 横浜, パシフィコ横浜, 2023,11

- 7) 林 海里, 清水慎太郎, 竹内康雄, 小林宏明, Zhu Q, Li Z, 田邊 元, 中禮 宏, 上野俊明, P. gingivalis 投与が持久性運動後の骨格筋 PGC-1 $\alpha$  および TNF $\alpha$  発現に与える影響, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 8) Li C, 和田敬広, 土田優美, 林 海里, 田邊 元, 中禮 宏, 上野俊明, サイクル荷重耐久性疲労試験を用いた 3D 多層マウスガードと従来型マウスガードの保持力比較, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2023,11
- 9) 大原庸子, 牧野さつき, 市原千恵, 永井 晃, 小口 亘, 林 海里, 田邊 元, 中禮 宏, 近藤剛史, 上野俊明, ブラインドサッカー選手のマウスガード作製前後の意識調査, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2023,11
- 1 0) 田邊 元, 渡辺英次, 青山勝彦, 橋本俊介, 諸富勝成, 白土 直, 吉開泰信, 鈴木克彦, 上野俊明, 免疫プロテインを摂取したアスリートの口腔と腸管の免疫応答、短鎖脂肪酸および腸内細菌叢の探索的解析, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 1) 堀田葉子, 林 海里, 外川海斗, 藤野祥子, 高橋優美, 清水慎太郎, 熊谷彰人, 平田憲雄, 渡辺和志, 根来武史, 田邊 元, 上野俊明, 中禮 宏, 水球中における顎顔面外傷経験に関する分析調査, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2023,11
- 1 2) 駒沢柚希, 田邊 元, 蓮沼哲哉, 外川海斗, 林 海里, 中禮 宏, 森谷直樹, 安井利一, 上野俊明, アスリート疲労感と顎口腔領域の自覚症状の連動類似性, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 3) Li C, Wada T, Tsuchida Y, Hayashi K, Tanabe G, Ueno T, Churei H, Retention force comparison of 3D multiple layer mouthguard and conventional mouthguard via cycle-loading durability fatigue test, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 4) Liu C, Aung T, Thu KS, Togawa K, Hayashi K, Tanabe G, Ueno T, Sato R, Sasaki Y, Churei H, Effect of CT slice thickness on defining the maxillofacial fracture area, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 5) 中禮 宏, 吉田浩美, 杉井麻耶, 柘植昂太, 佐瀬裕子, 永田将司, 林 海里, 外川海斗, 藤野祥子, 柳下和慶, 糖質コルチコイドの口腔内局所使用に関する情報共有について, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 6) 外川海斗, 練習中に上顎前歯部に外傷が生じたフットサル選手に対応した 1 例, 第 34 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡, 2023,11
- 1 7) 田邊 元, 上野俊明, アスリートにおける唾液 S-IgA 濃度の特性—唾液分泌速度層別化による傾向の違い—, 第 2 回唾液ケア研究会, 2023,11

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 田邊 元, Li C, 林 海里, 中禮 宏, 上野俊明, スポーツマウスガードの3次元デジタル造形技術に関する文献レビュー, 日本歯科理工学会R5 (2023) 年度近畿・中四国地方会, 大阪, 2023,10

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 上野俊明, スポーツマウスガードのクオリティコントローラー基礎から応用、実践ー, スポーツデンティストスキルアップ研修会(三重県歯科医師会), 津, 三重, 2023, 4
- 2) 上野俊明, スポーツと歯科, 歯学部口腔保健学科4年健康教育企画実践 III (東京医科歯科大学), 東京, 2023, 5
- 3) 上野俊明, Up-to-date スポーツ歯学, 歯学部5年フロンティア科目講義(北海道大学), 札幌, 北海道, 2023, 7
- 4) 上野俊明, 競技者によく見られる歯科疾患①硬組織, R5 公認スポーツデンティスト講習会(日本スポーツ協会 JSP0/日本歯科医師会), オンライン開催, 2023, 7
- 5) 上野俊明, 競技者によく見られる歯科疾患②軟組織, R5 公認スポーツデンティスト講習会(日本スポーツ協会 JSP0/日本歯科医師会), オンライン開催, 2023, 7
- 6) 上野俊明, 唾液検査の実際, R5 公認スポーツデンティスト講習会(日本スポーツ協会 JSP0/日本歯科医師会), オンライン開催, 2023, 7
- 7) 上野俊明, スポーツ歯科検診のポイントと診療時の留意点, R5 健康スポーツ歯科医学講習会(千葉県歯科医師会/スポーツデンティスト千葉), 千葉, 2023, 10
- 8) 上野俊明, 歯・口の健康とスポーツの関係, 白菊会懇談会(明海大学), 坂戸, 埼玉, 2023, 10
- 9) 上野俊明, 我が国のスポーツ界に対する歯科からの貢献, 第15回DNA懇談会(ヨシダ), 東京, 2023, 10
- 10) 上野俊明, 新しい認定制度規則について, 第37回認定研修会(日本スポーツ歯科医学会), 福岡, 2023, 11
- 11) 上野俊明, スポーツ活動中の歯・口のけが事例分析と予防10か条, スポーツ事故防止セミナー2023(スポーツ庁委託事業・スポーツ事故防止対策協議会), 神戸, 兵庫, 2023, 12
- 12) 上野俊明, ラグビー競技におけるマウスガードの必要性, R5 彩の国プラチナ☆ジム/埼玉県・三重県次世代アスリート交流事業(埼玉県体育協会/埼玉県歯科医師会), 上尾, 埼玉, 2023, 12
- 13) 上野俊明, スポーツマウスガードのクオリティコントロール, 茶静会講演会(東

京医科歯科大学歯科同窓会静岡支部) , 静岡, 2023, 12

- 1 4) 上野俊明, スポーツと歯科, R5 公認スポーツドクター養成講習会 (日本スポーツ協会 JSP0) , WEB 開催, 2024, 2
- 1 5) 上野俊明, スポーツに関連する歯科的問題, R5 スポーツ歯科講習会 (埼玉県歯科医師会), 坂戸, 埼玉, 2024, 2

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 中禮 宏 (代表), 林 海里, 上野俊明 (分担), 基盤 C : 22K10213 / 顔面骨折治療支援に向けた骨構造 FE 解析と CAD 形態解析による多面的評価の研究, 2022 - 2024 年度
- 2) 上野俊明 (代表), 田邊 元, 中禮 宏, 柳下和慶, 雨宮正樹, 林 海里, 竹内康雄 (分担), 基盤 C : 23K10640 / 口腔内細菌叢と唾液中のバイオマーカーに対する高気圧酸素療法の有効性, 2023 - 2025 年度
- 3) 竹内康雄 (代表), 田邊 元, 中禮 宏 (分担), 基盤 B : 23H03280・23K27970 / 運動によってもたらされる口腔細菌叢の変化と全身への影響, 2023 - 2026 年度

### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 清水慎太郎 (代表), 田邊 元, 林 海里, 中禮 宏, 安齋達彦, 高橋邦彦, 上野俊明 (分担), 高間 薫, 狩谷源一郎, 松本勝 (アドバイザー) , R4-5 特別研究助成 / 学校スポーツ事故防止に向けた事故事例の AI 計量テキストマイニング解析 : 共起ネットワークによる発生原因や背景、交絡因子の可視化, 日本安全教育学会, 2022 - 2023 年度

# 総合臨床医学講座

内 科 学 分野

頭頸部外科・耳鼻咽喉科学 分野

## 内科学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) Akihiko Hasegawa: Tachycardia, Bradycardia. Cardiac Arrhythmia. In: Internal medicine for dental treatments. Patients with medical diseases. Toshimi Chiba and Hiroyuki Yamada, eds, Springer, Singapore, pp19-20, 142-147, 2023

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 川田朗史, 松村華穂, 菱川暁広, 尾島健斗, 井上瑛弘, 三木朱里, 香村亜希子, 村上幸生, 長谷川彰彦, 鈴木正二: 明海大学病院口腔診断科における過去 3 年間の初診患者動向に及ぼした COVID-19 パンデミックの影響. 日本口腔診断学会雑誌, 36, 115-120, 2023.

#### 3. 症例報告

- 1) 大野由夏, 高木沙央理, 長谷川彰彦, 小長谷 光: 中等症大動脈弁狭窄症を有する 100 歳の超高齢者に対する全身麻酔経験. 日本障害者歯科学会雑誌 (障害者歯科), 44, 143-150, 2023.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 安藤慎之介, 高木沙央理, 原田達也, 高橋敏克, 大野由夏, 前田祐佳, 弘中哲夫, 石黒 隆, 長谷川彰彦, 小長谷 光: 低周波特化型圧電振動センサの呼吸特性の解析. 第 51 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023 年 10 月.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Nomura T, Sasaki A, Fujimoto M, Mano M, Suda N, Kondo K  
Effects of jaw movement in bimaxillary orthognathic surgery on the upper airway:  
Computational fluid dynamics analysis Orthod Craniofac Res. 2023;26:311-319.
- 2) M, Nishimura M, Nomura T, Kikuchi K, Sakamoto S, Ide F, Hoshino  
Lymphoepithelial cysts of the parotid gland may be an alternative histogenetic pathway of  
Warthin tumor. Pathol Int. 2023 Aug 28. doi:10.1111/pin.13375. Online ahead of print.
- 3) Iijima T, Sakai J, Kanamori D, Ando S, Nomura T, Tisi L, Kilgore PE, Percy N, Kohase H,  
Hayakawa S, Maesaki S, Hoshino T, Seki M. A New Method to Detect Variants of  
SARS-CoV-2 Using Reverse Transcription Loop-Mediated Isothermal Amplification  
Combined with a Bioluminescent Assay in Real Time (RT-LAMP-BART). Int J Mol Sci.  
2023 27;24:10698.
- 4) Nomura T, Horikoshi T, Kitano Y, Yamada M, Kondo K, Kikuchi S.  
The morphometrical evaluation after uvulopalatopharyngoplasty. Sleep Breath. 2023 Oct  
4. doi: 10.1007/s11325-023-02926-w.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 同側耳下腺および顎下腺に同時手術を行った2例  
第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会      2023/5/17      野村 務

# 明海大学歯科医学総合研究所

Meikai University Research Institute of Odontology

(M-RIO)



## M-RIO

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Abe T, Sakagami H, Amano S, Uota S, Bandow K, Uesawa Y, U S, Shibata H, Takemura Y, Kimura Y, Takao K, Sugita Y, Sato A, Tanuma S-I, Takeshima H: A Comparative Study of Tumor-Specificity and Neurotoxicity between 3-Styrylchromones and Anticancer Drugs, *Medicines* 2023, 10, 43. <https://doi.org/10.3390/medicines10070043,2023,7>
- 2) Yamada M, Iijima Y, Seo M, Hino S, Sano M, Sakagami H, Horie N, Kaneko T: Cancer Chemotherapy-associated Pigmentation of the Oral Mucosa, *In Vivo* 37(4):1880-1885, 2023, 2023,4
- 3) Izawa M, Otaka Y, Sakagami H, Tanuma S-I, Amano S, Uota S, Inomata M, Kato Y, Kadokura H, Yokose S, Sunaga K, Koga-Ogawa Y, Nakaya G and Kito S: Comprehensive Study of Anti-UVC Activity and Cytotoxicity of Hot-water Soluble Herb Extracts. *In Vivo* 37(4): 1540-1551, 2023, 2023,4
- 4) Jimenez-Bueno I, Garcia-Contreras R, Aranda-Herrera B, Sakagami H, Lopez-Ayuso CA, Nakajima H, Jurado CA and Nurrohman H: Cytotoxicity, Differentiation, and Biocompatibility of Root-End Filling: A Comprehensive Study, *Biomimetics* 2023, 8, 514. <https://doi.org/10.3390/biomimetics8070514, 2023, 8>
- 5) Swagatika Das, Praveen K. Roayapalley, Hiroshi Sakagami, Naoki Umemura, Dennis K. J. Gorecki, Mohammad Hossain, Masami Kawase, Umashankar Das, Jonathan R. Dimmock: Dimeric 3,5-Bis(benzylidene)-4-piperidones: Tumor-Selective Cytotoxicity and Structure-Activity Relationships. *Medicines*, 11(1) 3-3, Jan 11, 2024, 2024, 1
- 6) Ahmed Abdullah Al Awadh AAA, Sakagami H, Amano S, Ahmed M. Sayed AM, Abouelela ME, Alhasaniah AH, Aldabaan N, Refaey MS, Abdelhamid RA, Khalil HMA, Hamdan DI, Abdel-Sattar E-S, Mohamed A. A. Orabi MAA: In vitro cytotoxicity of *Withania somnifera* (L.) roots and fruits on oral squamous cell carcinoma cell lines: a study supported by flow cytometry, spectral, and computational investigations, *Front. Pharmacol.*, 18 January 2024. *Sec. Pharmacology of Anti-Cancer Drugs. Volume 15*, <https://DOI.org/10.3389/fphar.2024.132527, 2024,1>
- 7) Suzuki R, Shirataki Y, Tomomura A, Bandow K, Sakagami H and Tomomura M, Isolation of Pro-Osteogenic Compounds from *Euptelea polyandra* That Reciprocally Regulate Osteoblast and Osteoclast Differentiation. *Int J Mol Sci* 2023, 24, 17479. doi: 10.3390/ijms242417479,2023,12

- 8) Orabi MAA, Orabi EA, Awadh AAA, Alshahrani MM, Abdel-Wahab BA, Sakagami H and Hatano T: New Megastigmane and Polyphenolic Components of Henna Leaves and Their Tumor-Specific Cytotoxicity on Human Oral Squamous Carcinoma Cell Lines, *Antioxidants* 2023, 12, 1951. <https://doi.org/10.3390/antiox12111951>, 2023,12
- 9) Morikawa M, Uehara S, Yoshida A, Sakagami H, Masuda Y: Photodynamic Therapy With Resveratrol and an Nd:YAG Laser for Enterococcus faecalis Elimination. *In Vivo* 38(2): 559-566, 2024,2024,3
- 10) Tagawa Y, Sakagami H, Tanuma S-I, Amano S, Uota S, Bandow K, Tomomura M, Uesawa Y, Takao K, Sugita Y, Yamamoto N, Sakashita H, Nakakaji R, Koizumi T, Mitsudo K and Tohnai I: Potentiation of Anticancer Activity of G<sub>2</sub>/M Blockers by Mild Hyperthermia, *Anticancer Res* 43: 3429-3439, 2023, 2023,7
- 11) Otaka Y, Izawa M, Sakagami H, Shiba N, Takahashi N, Tanuma S, Amano S, Uota S, Inomata M, Yokose S, Sunaga K, Hayashi S, Koga-Ogawa Y, Nakaya G and Kito S: UVC-Protective Activity of Lemongrass Among 12 Fat-soluble Herbal Extracts: Rapid Decay Due to Cytotoxicity. *In Vivo* 37(6): 2464-2472, 2023, 2023,11

#### C. その他の刊行物など

- 1) 坂上 宏、魚田 慎、天野 滋、田沼靖一、猪俣 恵、大高祐聖、井澤真希、鬼頭慎司、須永克佳、鈴木龍一郎、小川由香里、上田大輔、延澤忠真、中谷儀一郎： 3大学連携プロジェクト：コロナ禍における安全で持続性のあるUVC保護物質の探索, *New Food Industry* 65 (12): 705-712, 2023, 2023, 12
- 2) Lopez-Ayuso CA, Uota S, Acra AM, Kobayashi M, Acosta-Torres LS, Garcia-Contreras R and Sakagami H, Bridging Mexico and Japan: Exploring the significance of research stays, *New Food Industry* 65(11) : 664-668, 2023, 2023,11
- 3) Acra AM, Uota S and Sakagami H, Japanese and Mexican Food, *New Food Industry* 65(4): 227-240, 2023, 2023, 4
- 4) 坂上 宏、千葉直樹, スターターとデベロッパ：天命「を知り「極める」, *New Food Industry* 66 (1): 43-49, 2024, 2024, 1
- 5) 小田慎太郎、猪俣 恵、坂上 宏：歯周病とヒト口腔ウイルス叢の関連性. *New Food Industry* 65(4): 241-244, 2023, 2023, 4

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

##### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) Hiroshi Sakagami, Identification of potent anti-oral cancer (Part I), anti-HIV (Part II) and anti-UVC entities (Part III) among hundreds of natural and synthetic polyphenols, and anti-inflammation activity of alkaline extract of plants, Special Lecture for 60th Anniversary of UAEM Dental School (2024.3.14), 2024, 3

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂上 宏, 化学療法係数に基づくハーブ・ポリフェノール類の抗 UVC 活性の比較検討～レモングラスの卓越性と細胞毒性. 日本ハーブ療法研究会 第 9 回学術集会、城西大学紀尾井町キャンパス 1 号棟、東京、2023, 12

### (3) 一般演題

- 1) 井澤真希、大高祐聖、坂上 宏、芝 規良、高橋伸年、鬼頭慎司：108 種水溶性ハーブ抽出物の抗 UVC 活性に関する調査, 日本歯科放射線学会第 63 回学術大会、福岡, 2023,5
- 2) 瀬尾桃香、山田美喜、飯島洋介、日野峻輔、坂上 宏、堀江憲夫、金子貴広、佐野元彦：がん化学療法に伴う口腔内色素沈着. 日本薬学会第 144 年会、横浜、2024, 3
- 3) 猪俣 恵、安部雅世、河瀬泰子、天野 滋、坂上 宏：ヒト口腔上皮細胞における Dectin-1 の発現と役割. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会、東京、2023, 9
- 4) 唐橋幸宏、今井健一、坂上 宏、堀内美咲、佐藤秀一：下気道における *P. gingivalis* 誘導性炎症性サイトカイン産生に対するクマザサアルカリ抽出液の抑制効果, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会、香川、2023, 5
- 5) 小倉寛哉、天野 滋、坂上 宏、田沼靖一、山本信治、中鍛治里奈、小泉敏之、光藤健司、藤内 祝：口腔癌に対する ICG/Au/Ferucarbotran 結合腫瘍細胞透過性ペプチドの動注療法と NIR を用いた細胞内温熱療法. 日本ハイパーサーミア学会、神奈川第 40 回大会、2023,9
- 6) 小倉寛哉、天野 滋、坂上 宏、田沼靖一、山本信治、中鍛治里奈、小泉敏之、光藤健司、藤内 祝：口腔癌に対する磁性ナノ粒子の動注療法と近赤外線を用いた組織内温熱療法の有効性, 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会、大阪, 2023, 11
- 7) 小倉寛哉、天野 滋、坂上 宏、山本信治、佐久間 要、田中 彰、光藤健司、藤内 祝：口腔癌に対する磁性微粒子の動脈投与と交流磁場を用いた温熱療法の有効性, 42 回日本口腔腫瘍学会、札幌, 2024, 1
- 8) 坂上 宏、田沼靖一、天野 滋、魚田 慎、猪俣 恵、大高祐聖、井澤真希、鬼頭慎司、横瀬敏志：新規クロモン誘導体のヒト口腔扁平上皮癌細胞傷害効果を増強させる因子の探索. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会、東京、2023, 9

## 3. 地方会

### (3) 一般演題

- 1) 川瀬龍太郎、坂上 宏、植沢芳広：3-Styrylchromone 誘導体の腫瘍選択性に寄与するエストロゲン関連受容体に対するドッキングシミュレーション. 第 67 回日本薬

学会関東支部大会, 2023, 9

- 2) 坂上 宏、田沼靖一、天野 滋、魚田 慎、猪俣 恵、植沢芳広、高尾浩一、杉田義昭 : *In silico* パスウェイ解析により推定された3-スチリルクロモン誘導体の腫瘍選択性とエストロゲン関連受容体の阻害の相関. 第149回日本薬理学会関東部会、東京, 2023, 10

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上 宏, 松かさリグニンの薬理作用: 株式会社ファースト5周年コンベンション、記念講演、福岡, 2023, 11

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上 宏、天野 滋 (分担)、藤内 祝 (代表): 基盤研究(B) (20H03893): 口腔癌に対する腫瘍選択性磁性体を用いたハイパーサーミアによる低侵襲的治療の開発.  
研究期間: 2020-04-01 – 2024-03-31

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 田沼靖一 (分担): 国立研究開発法人日本医療研究開発機構、次世代がん医療加速化研究事業「次世代がん医療加速化研究事業」(代表: 田沼延公) 課題名: 代謝阻害剤の開発
- 2) 坂上 宏: 株式会社大和生物研究所、共同研究費、クマ笹抽出物の口腔環境改善等への影響や作用機序に関する研究
- 3) 天野 滋: アロニクス株式会社、高周波誘導加熱装置を用いたインプラント周囲炎の治療法の開発
- 4) 魚田 慎: 日本三晶製薬株式会社、研究委託金、松の実殻エキスに関する研究